



Instant Security Solution

W1 シリーズ 取扱説明書

株式会社 TSP

Rev 1.0.0

内容

免責及び注意事項.....	6
安全に関するご注意.....	9
警告.....	9
注意.....	9
製品の準備と動作確認.....	10
カメラの準備.....	10
レコーダーの準備.....	12
ログインする.....	14
チャンネルの設定、信号状態の確認.....	15
ライブ映像画面の見方、操作.....	17
表示内容.....	17
チャンネルメニュー.....	18
全画面表示にする.....	18
画像設定を行う（夜間監視モード変更、色みの調整、画像の反転など）.....	19
夜間監視モード(暗視モード)を設定する.....	19
画像を上下反転する(イメージ反転).....	20
プライバシーマスクを設定する(プライバシー領域).....	21
フリッカーの設定を行う(フリッカレス).....	24
映像の色調などを調整する(カラーモード).....	24
カメラの音をモニターから出す（サウンド）.....	26
スピーカの音量を変更する.....	26
イヤホンや外部スピーカを使用する.....	26
ライブ映像を拡大する（デジタルズーム）.....	27
PTZ 操作を行う（遠隔操作（PTZ））.....	28
カメラを動かす.....	28
オートトラッキング機能を有効にする(自動追跡)(AI 機能).....	29

その他機能.....	29
カメラから警告音をだす（アラート）	30
メニューバー	31
右クリックメニュー	33
画面を分割する	34
画面を任意の分割数、チャンネル配置にする(カスタム画面)	35
ライブ映像のチャンネルを並び替える(CH ソート)	42
システム設定メニュー	44
一般設定	45
言語を変更する	45
モニター、HDMI 出力の解像度を変更する	46
音の出力先を変更する（音声出力形式）	48
出力音量を変更する.....	48
カメラ設定	49
カメラの登録と削除.....	49
カメラを新規で登録する	49
カメラを削除する	52
カメラの名前を変更する	53
録画スケジュールを設定、変更する（録画モード）	54
カスタマイズ録画の設定(カスタマイズ録画)	55
音声を動画に録音する、しないの変更(録音)	58
人体検知、動体検知の設定を行う（イベント検出）（AI 機能）	59
動体検知を設定する.....	59
人体検知(AI 機能)を有効にする.....	62
人体検知をした場合に枠が表示されるようにする(人物フレームスイッチ)	64
各種アラームを設定する（サイレンアラーム、ライトアラーム、アラームプッシュ通知）	65
カメラから警報音を出す(サイレンアラーム).....	66
カメラから警告光を発する(ライトアラーム)	67

アプリケーション経由で通知を送る(アラームプッシュ通知、APP)	68
メールで通知を送る(アラームプッシュ通知、Email)	69
アラーム期間を設定する(アラーム期間)	71
アラーム期間を設定する(カスタム期間)	72
カメラの設定情報をほかのカメラにコピーする (カメラ設定のコピー)	75
日付/時刻	77
時間を修正する	77
ネットワーク	79
インターネットに接続する (ルーター接続 (有線))	79
インターネットに接続する (ルーター接続 (無線))	82
スマートフォンを使用した遠隔監視	86
インターネットへの接続を確認する	86
レコーダーのアカウント情報を確認する	86
アプリケーションの操作 (スマートフォンの操作)	88
アプリケーションのインストール	88
ユーザー登録を行う	90
レコーダーをアプリケーションに登録する	94
アプリケーションの操作方法	99
ライブ画面操作	99
検知履歴	101
アルバム	102
警報器	103
もっと(その他機能)	103
通話機能	103
録画を再生する	104
アプリケーション使用時の注意点	106

免責及び注意事項

1. 自然災害やユーザーの行為による問題

火災、落雷、地震、洪水などの自然災害、公害、塩害、ガス害、異常電圧、第三者による行為、お客様の故意または過失、誤用などによって生じた故障、破損、もしくは不具合につきまして、当社は責任を負いかねます。

2. 説明書および仕様書から逸脱した使用

当社説明書および当社仕様書に記載内容から逸脱して本製品を使用されたことによって生じた故障、破損もしくは不具合につきまして、当社は責任を負いかねます。

3. 他の機器による影響

他の機器などにより誘発する故障、破損もしくは不具合(動作環境や相性を起因とする不具合)などにつきまして、当社は責任を負いかねます。

4. 本製品の故障による付随的な損害

本製品の故障、破損もしくは不具合により発生した付随的な損害(事業利益の損害、事業の中断、人命・財産への損害など)について、当社は責任を負いかねます。

5. 映像の保存に関する問題

本製品の故障、誤動作、接続機器の不具合などの原因により、内蔵 HDD や外部録画機器などへ、正常に画像を保存できなかった場合の内容の補償、画像の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。

6. プライバシーと肖像権

本製品は、カメラの被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。撮影された画像が公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。

7. 改造や非指示分解

本製品の取扱説明書で指示している以外の分解を行わないでください。また、本製品の改造を行わないで下さい。本製品の取扱説明書で指示している以外の分解、または改造した場合は、保証の対象外となります。

8. 移動、輸送中の問題

お買い上げ後の移動、輸送中の衝撃や落下による故障、破損もしくは不具合につきましては、当社は責任を負いかねます。

9. 設置工事、施工の間違い

設置工事、施工の間違いや不備による故障、破損もしくは不具合につきましては、当社は責任を負いかねます。

10. 一般家庭以外での使用

一般家庭以外(例えば車両・船舶への搭載など)に使用された際の故障、破損もしくは不具合につきましては、当社は責任を負いかねます。

11. 防犯保証

本製品は、防犯を保証する機器ではありません。これによる事件、事故および損害などの発生につきましては、当社は責任を負いかねます。

12. 異常な状態での使用

本製品が故障もしくは異常な状態のまま、使用を継続しないでください。

13. 保管環境

本製品の劣化を促進する腐食性のガスなどの発生する恐れがある場所での使用、保管は避けてください。

14. 複数セットの使用

本製品を同現場で複数セットの使用は推奨しておりません。複数セット使用した場合、映像の遅延、切断等の症状が発生する可能性がございます。

複数セットとはレコーダーが2台以上置かれている状況を指します。

15. 推奨カメラ数

W1 シリーズのレコーダー、15インチモデル(TSP-W1-NVR15)は無線接続時で最大10台まで、12インチモデル(TSP-W1-NVR12)は最大8台までを推奨させていただきます。

上記台数より多い台数を無線接続した場合は接続や通信の安定性に問題が出る可能性がございます。

16. Wi-Fi の信号強度

本製品は Wi-Fi 通信を用いてカメラの信号を NVR へ送信する仕組みを採用しております。したがって電波状況が悪化した場合、映像の中断や遅延、画像ノイズが発生する場合がございます。電波障害による上記の現象につきまして、当社は責任を負いかねます。

17. 電源と電圧

本製品は日本国内用製品です。指定された電源と電圧でのみ使用してください。それ以外の電源や電圧で使用した場合に生じる故障、破損もしくは不具合について、当社は責任を負いかねます。

18. 通信機器の互換性

当社以外の製品や通信機器との互換性を保証するものではありません。それらの機器との接続による問題について、当社は責任を負いかねます。

19. モニターのドット抜けに関して

モニター製品の性質上、ごく稀にドット抜け(一部のピクセルが点灯しない、常時点灯する、または正常な色を表示しない現象)が生じる場合がございます。この現象は、製造工程上の特性に基づくものであり、製品の不具合や故障を示すものではございません。従いまして、ドット抜けによる返品、交換、無償修理の要求は受けかねます。

20. 商品外装に関して

本製品は国外で生産し、国内で検査、組み込み、設定を行って出荷しております。モニターレコーダー、カメラの外装は輸送途中に一部つぶれ、破損等ある場合がございますが製品の品質に問題はございません。外装の破損等が理由による交換等は致しかねます。

上記の内容を確認し理解した上で、本製品をご使用いただきますようお願いいたします。当社は上記の事由による故障、破損、不具合、事故等につきまして、一切の責任を負いかねますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。

安全に関するご注意

お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しております。

正しく使用するために必ずお読みになり、内容をよく理解した上でお使いください。

なお、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・トラブルは、弊社の保証対象に含まれません。

あらかじめ、ご了承ください。

警告

- 本製品の分解や改造を行わないでください。
火災・感電・故障の原因となります。
- 異物を入れないでください。
水・金属などを入れると、火災・感電・故障の原因となります。
- 異常があるときは使用を中止してください。
煙が出る、異臭がする場合は電源ケーブルを抜き、直ちに使用を停止してください。
そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。
- 機器の周囲に水などの入った容器を置かないでください。
水などが機器の中に入った場合、火災や感電の原因となる場合があります。
- 配線は電源を切った状態で行ってください。
感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

注意

- ケーブルをつないだまま機器を移動させないでください。
ケーブルをつないだまま機器を移動させると予期せぬ事故や感電の原因となる場合がございます。
- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となる場合がございます。
直射日光のあたる場所
本体温度上昇によって HDD や基盤、電源装置が故障する場合がございます。
湿度の高い場所
本体内に溜まったほこりなどが水分を帯び、基盤がショートする原因になります。
強力な磁気のある場所
外部の磁気によって内蔵の HDD や基盤、カメラと NVR の通信に影響を与える恐れがございます。
腐食性ガスの発生する場所
ガスによって本体ケースや基盤が侵食され、故障の原因となります。
- 密閉された空間、換気の悪い場所
換気が十分にされていないと本体からの発熱が溜まり、故障の原因となります。
十分に換気された場所で使用してください。

製品の準備と動作確認

以下に本セットの使用方法和動作確認の手順をご案内いたします。

本セットをご使用時は必ず以下の手順に従い、**動作確認**を行ったうえで**取り付け工事**を行ってください。

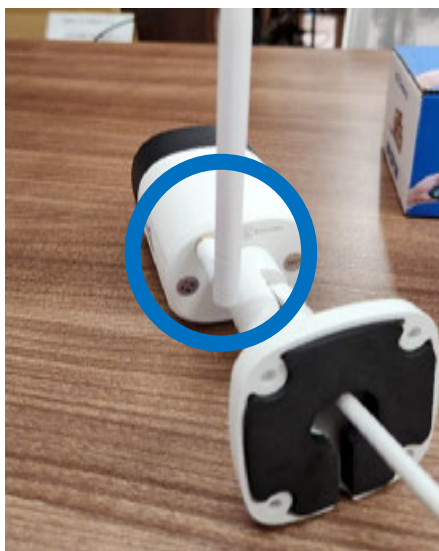
カメラの準備

カメラの動作確認、準備を行います。ご購入後は必ずこちらの手順でカメラが起動、動作することを確認してから取り付けを行ってください。

- ① :箱からカメラ本体、ACアダプター、アンテナを取り出します。
※タブレット、ドームカメラはアンテナ一体型です。



- ② カメラにアンテナを取り付けます。しっかりと手でねじ込み、固定してください。
締め付けが甘いと電波を正常に受信できなくなる可能性があります。



- ③ カメラの電源コネクタに AC アダプターのコネクタを差し込みます。
AC アダプターのコンセント側を AC100V 電源コンセントに差し込みます、



カメラに電源が入り、バレットカメラの場合はホワイトライトが光ります、

- ④ カメラの LAN プラグに電源ランプがあり、一定間隔で光っていれば動作確認は終了です。

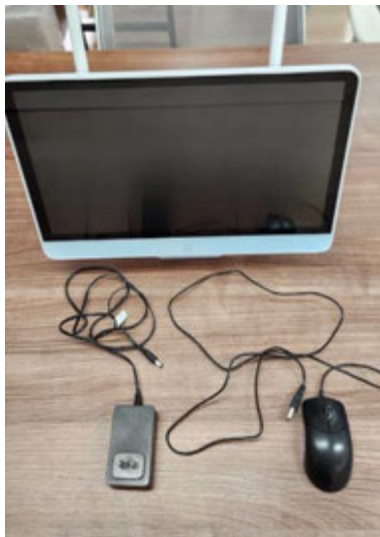


このままレコーダーの動作確認も行いますのでカメラは電源を入れたままにしてください。

レコーダーの準備

カメラ同様、レコーダーも必ず設置前に動作確認をお願いいたします。

- ① 箱からレコーダー本体、ACアダプター、マウスを取り出します。



- ② レコーダー本体に、マウスの USB コネクタ、AC アダプターのコネクタを接続します。



- ③ ACアダプターのコンセント側を AC100V 電源コンセントに差し込みます、



電源が入り起動ロゴが表示されます。そのまま少し待ちます。

- ④ 少し経つとライブ画面が表示され、カメラと正常に接続出来れば先ほど電源を入れたカメラの映像が表示されます。



正常に画面が表示されれば動作確認は終了です。

弊社出荷時に基本的な設定は行ったうえで出荷しておりますので通常はこのまま使用が可能です。
設定を変えたい場合はこの時点で設定変更などを行っておくと後程の工程がスムーズに進みます。

ログインする

一定時間操作がない、初めて操作する場合など、ログインを求められる場合があります。その場合は以下のログイン操作を行ってください。



- ① パスワード欄をクリックします。
- ② ソフトウェアキーボードが表示されますので、パスワードを入力してください。
※初期パスワードは admin123456 です。パスワードはログイン後、セキュリティの観点から変更をお勧めしております。
- ③ 次回ログイン時にパスワードを自動入力にする場合はパスワード保存にチェックを入れ、ログインをクリックしてください。※セキュリティ上の観点からパスワード保存は非推奨です。

チャンネルの設定、信号状態の確認

設置前に信号状態の確認と、レコーダーのチャンネルの設定を行ってください。

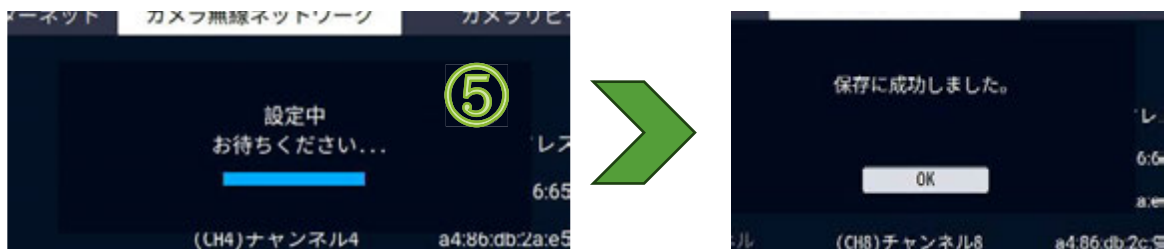
チャンネルの設定は特に重要な操作になります。

この操作を行わない場合カメラ映像が乱れる、映像の遅延、切断が発生するなどの原因となる場合があります。



① ライブ映像画面上、どこでもいいので右クリックします。

② 表示されたメニューから、ネットワークを選択します。



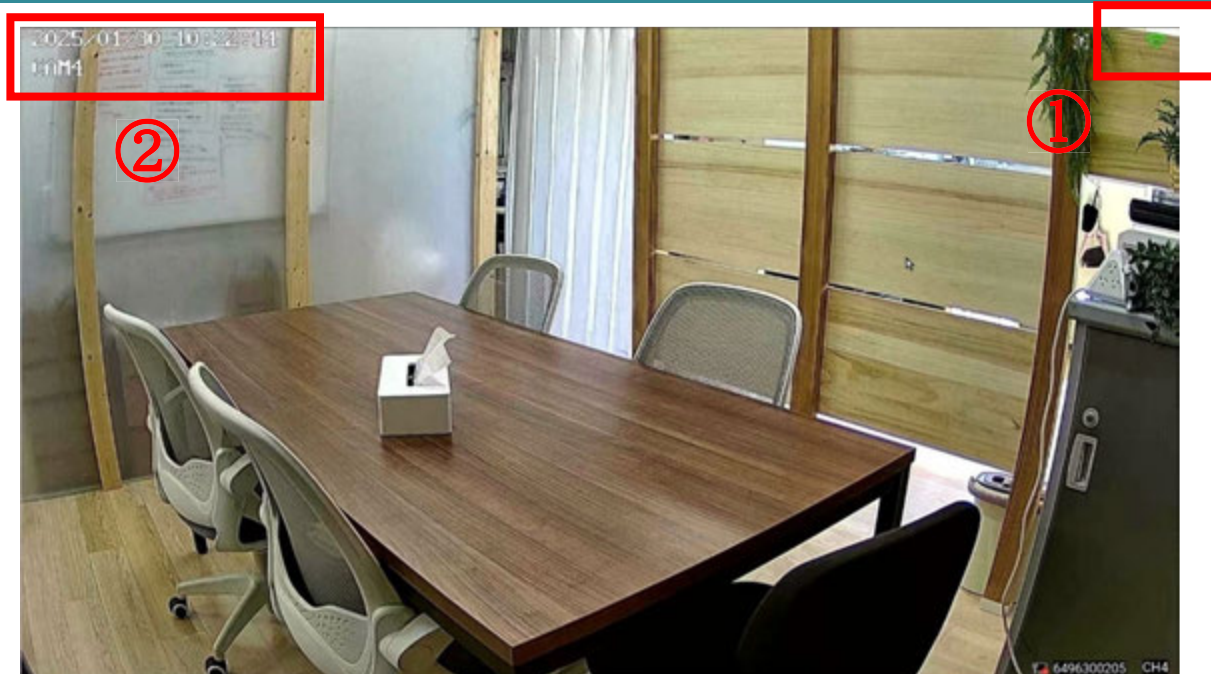
- ③ 「無線カメラの設定」をクリックします。
- ④ 「有効チャンネル選択」をクリックします。
- ⑤ 「設定中」と出た後、「保存に成功しました」と出ます。

上記手順でWiFiのチャンネルが現場環境に応じて自動で設定されます。手動で設定する場合は各WLANのチャンネルを変更してください。WLAN1が2.4GHz帯、WLAN2が5GHz帯のチャンネルとなります。

ライブ映像画面の見方、操作

こちらの項目ではライブ映像画面内の表示に関して説明させていただきます。

表示内容



- ① OSDメニュー:カメラの日付表示とカメラ名が表示されます。
- ② アンテナマーク、録画状況アイコン:以下の内容になっています。



アンテナマーク(扇状):無線接続時の信号強度を表しています。詳細な信号は別途ネットワークメニューから確認できます。



アンテナマーク(階段状):有線接続時の信号マークです。有線接続であることを示しています。



スケジュール録画:録画スケジュール登録に沿って録画を行っているマークです。

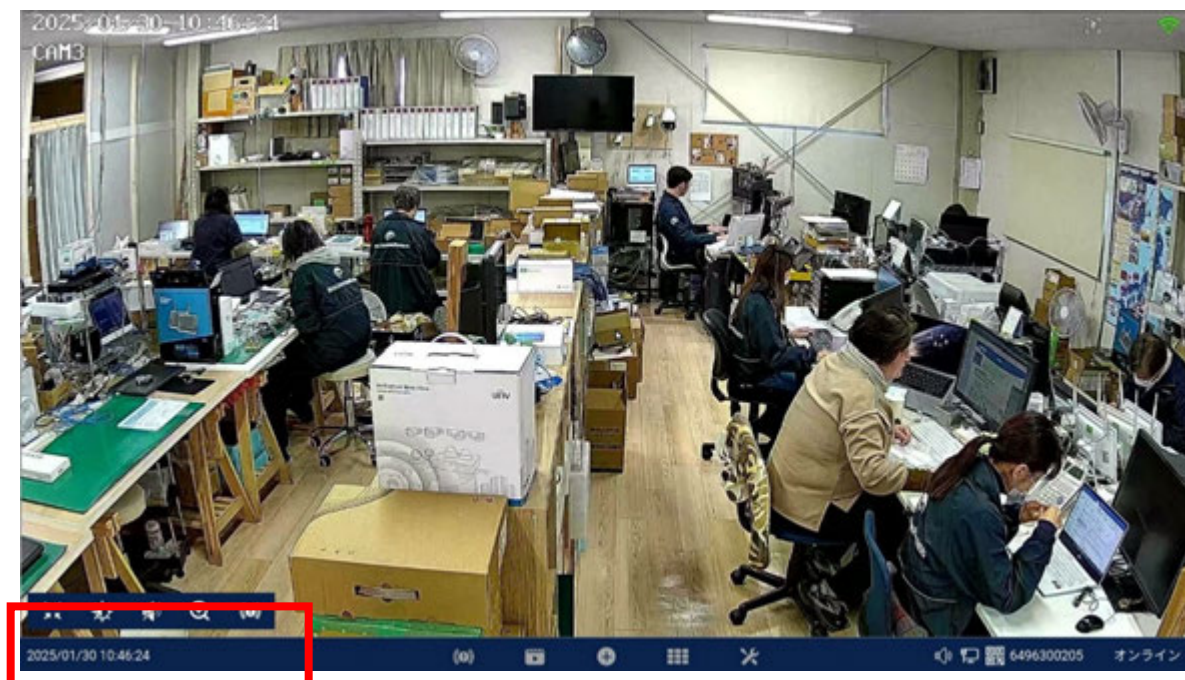


人体検知:人体検知が発報中であることを示しています。



動体検知:動体検知が発報中であることを示しています。

チャンネルメニュー



各ライブ映像を一度クリックするとチャンネルメニューが表示されます。
チャンネルメニューからできることは以下の通りです。

全画面表示にする



全画面表示

こちらのアイコンをクリックすると全画面表示になります。また、分割画面表示状態の各ライブ画面映像をダブルクリックすることでも全画面表示にできます。



分割表示(全画面表示解除)

こちらのアイコンをクリックすると全画面表示が解除されます。

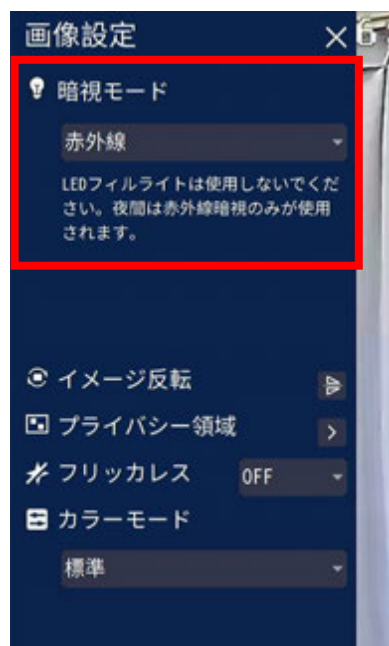
画像設定を行う（夜間監視モード変更、色みの調整、画像の反転など）



画像設定

こちらのアイコンをクリックすると夜間監視モードや色調を変更できます。それぞれ次の通りです。

夜間監視モード（暗視モード）を設定する



次の中から選択し、夜間の監視モードを決定します。※モデルによってないものがあります。

赤外線

赤外線照射によって白黒映像で夜間監視を行うモードです。光源がない場合でも夜間映像を撮影することが可能です。

デイ&ナイト

夜間も常にフルカラー撮影します。

白黒

常に赤外線照射による白黒映像での撮影を行います。この場合は日中でも白黒映像になります。

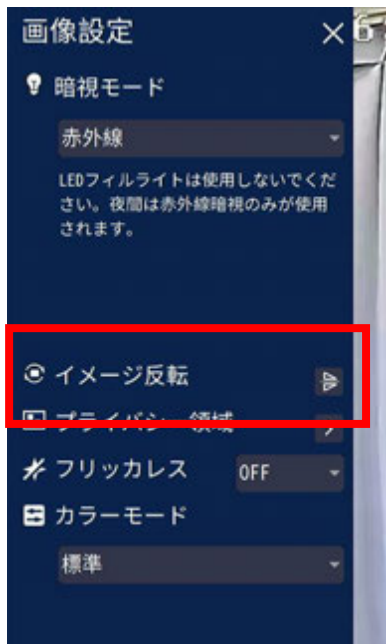
フルカラー

ホワイトライト搭載モデルのみの機能です。夜間はホワイトライトを照射し、常にフルカラーで撮影するモードです。この機能を使用する場合は周辺環境に考慮してご利用ください。

スマートモード

ホワイトライト搭載モデルのみの機能です。夜間は基本的に赤外線照射による白黒映像で記録を行いますが、人体検知が発報された場合のみホワイトライトを照射しフルカラー映像になります。

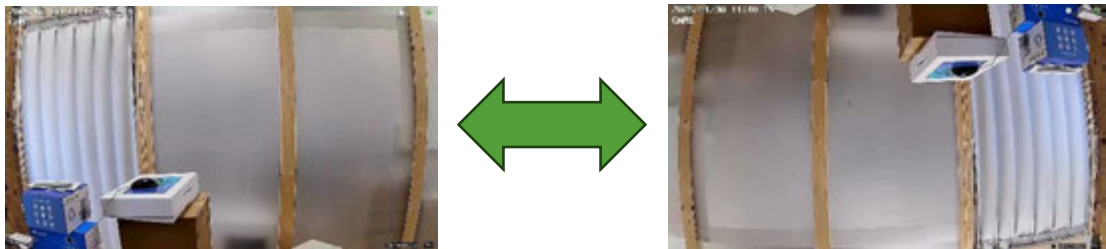
画像を上下反転する（イメージ反転）



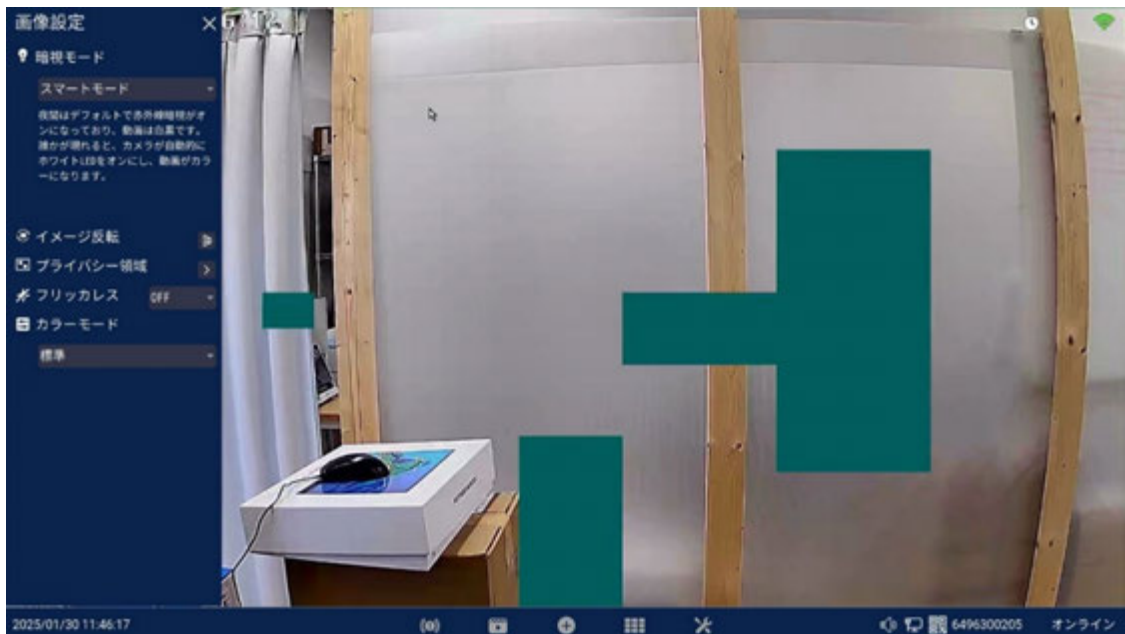
カメラ映像を上下反転します。ドームカメラ等で取り付け後に調整する場合ご利用ください。



アイコンをクリックすると、クリックするたびに上下が反転します。



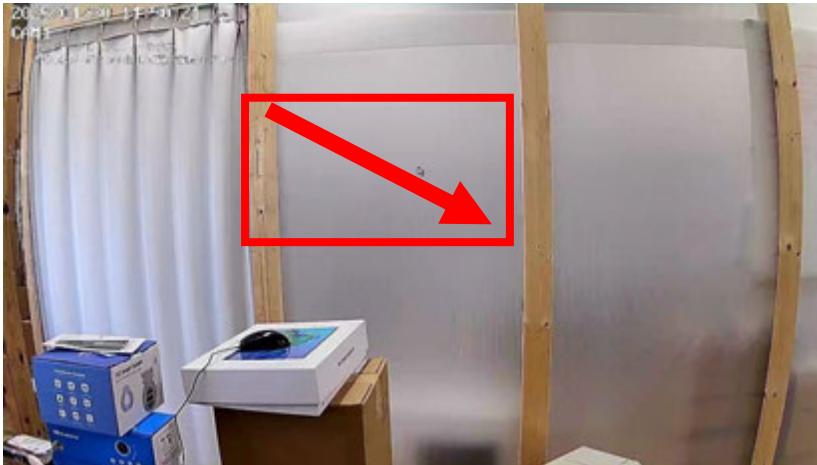
プライバシーマスクを設定する（プライバシー領域）



映像内に写したくない(プライバシーの問題など)場所がある際にこちらの設定を行うとその場所は塗つぶして表示することができます。録画映像にもすべて反映されます。



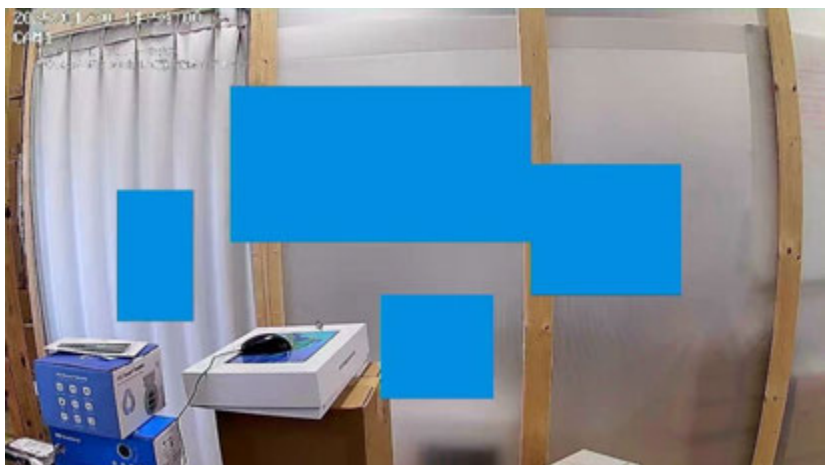
矢印アイコンをクリックするとマスクの設定モードになります。



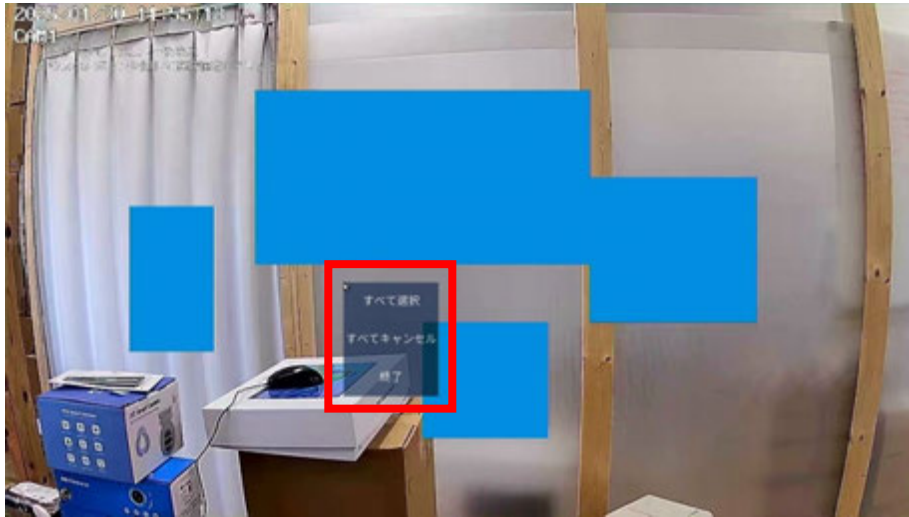
表示されている画像内の、マスクをかけたい部分をドラッグします。
(マウスの左ボタンを押したままマウスカーソルを移動)



マウスのボタンを離すと画像のように枠が表示されます。

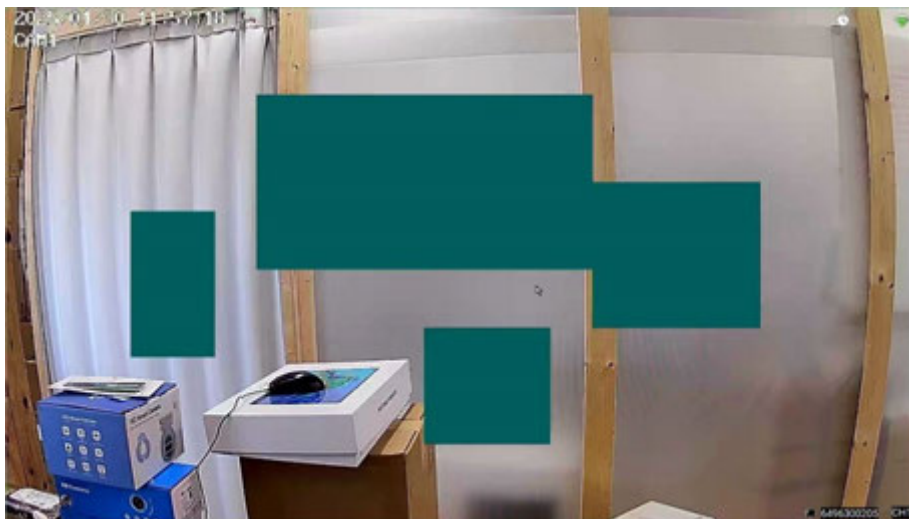


続けて操作すると4か所までマスクを設定できます。5か所目を操作すると最初の場所のマスクが解除されます。



画面上で右クリックをすると上記のようなメニュー画面が表示されます。

マスクを消す場合は「すべてキャンセル」、現在のマスクを有効にする場合は「終了」をクリックします。



設定が終わると緑色のマスクが表示されます。

フリッカーの設定を行う（フリッカレス）

屋内、弱った蛍光灯の下などで撮影を行うと、画面内に波のような線が出る場合があります。そのようなときは以下の設定を行ってください。



OFF:フリッカー減少が出ていない場合は設定しないでください。

50Hz:東日本の場合は 50Hz に設定してください。

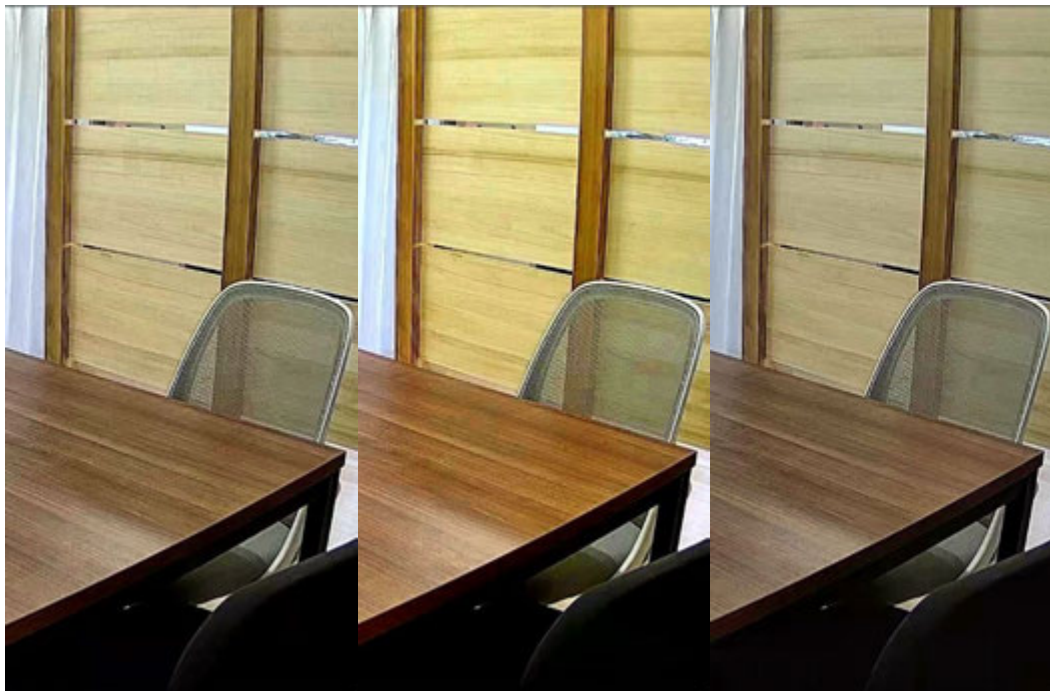
60Hz:西日本の場合は 60Hz に設定してください。

※上記に設定してもフリッカーが収まらない場合は画角を変える、照明を変える等を検討ください。カメラの機能として対応はできません。不具合でもございませんのでご了承ください。

映像の色調などを調整する（カラーモード）

映像の色あいや彩度などの調整が可能です。プリセットから選ぶか、手動で調整を行えます。

以下、左から、カラーモードの標準、鮮やか、ソフトの参考画像です。



カスタム:手動で色彩の調整を行います。以下の項目があります。



シャープネス:輪郭を強調させる項目です。高くするとよりハッキリ輪郭が強調されますが、高すぎるとノイズのようになることがあります。

輝度(ブライトネス):映像の明るさを調整します。

飽和(サチュレーション):色の濃さを調整します。上げると原色に近い色、下げるとモノクロに近くなります。

Hue:色合いを調整します。上げると赤に近く、下げると緑に近くなります。

カメラの音をモニターから出す（サウンド）



サウンド

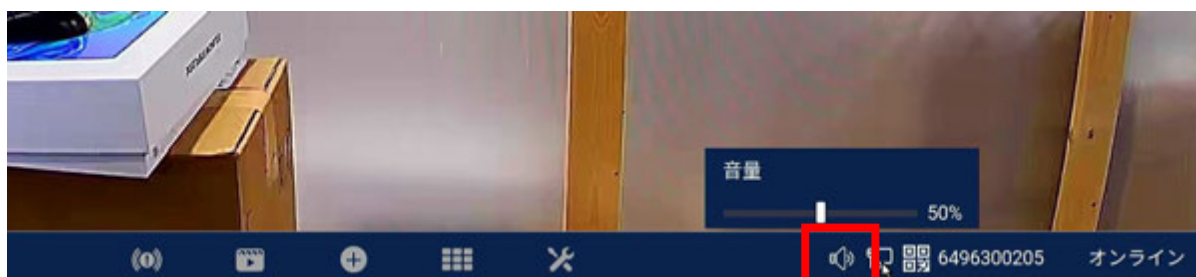
こちらのアイコンをクリックするとモニター搭載のスピーカよりカメラの音が出ます。



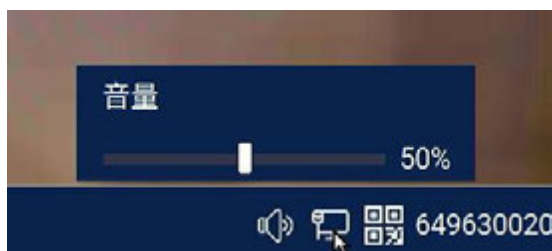
こちらのアイコンの場合はすでに音が出ている状態です。このアイコンをクリックすると音が止まります。

スピーカの音量を変更する

スピーカの音量は以下の項目から変更できます。



ライブ画面表示時にマウスを操作すると画面下側にメニューバーが表示されます。その中から上記画像のアイコンをクリックしてください。



音量設定のスライダーが表示されますので、こちらをマウス操作してボリュームを変更してください。

イヤホンや外部スピーカを使用する

本体に 3.5mmステレオジャックがございますので、こちらから音を出力することも可能です。イヤホンジャックにイヤホンやスピーカが接続された場合、本体からは音は出力されません。

ライブ映像を拡大する（デジタルズーム）



デジタルズーム

こちらのアイコンをクリックするとライブ映像の一部をデジタルズームできます。

アイコンをクリックすると画面右下に以下のような表示が出ます。



ズームインアイコン:こちらのアイコンをクリックすると表示されている画像がズームされます。その際右下の小さいウィンドウ内に赤い枠が表示され、いまどの部分をズームしているか視覚的に分かりやすく表示されます。



画面上をドラッグすることでズームの表示範囲を動かすことができます。



ズームアウトアイコン:こちらのアイコンをクリックすることでズームアウトできます。

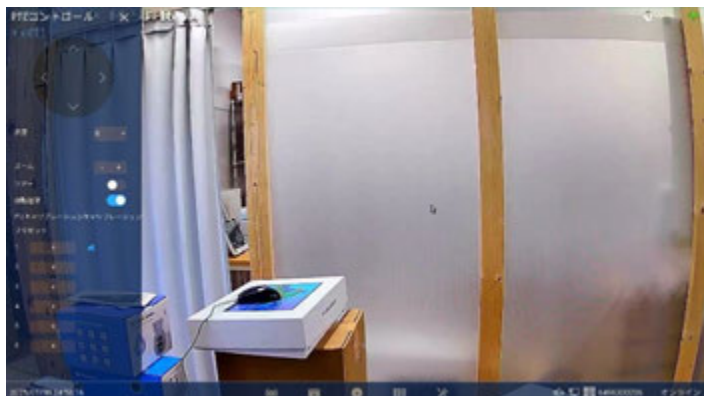
ズームイン、ズームアウトはマウスのホイール操作でも可能です。

PTZ 操作を行う（遠隔操作（PTZ））



遠隔操作(PTZ)

こちらのアイコンをクリックすると PTZ 操作(カメラを遠隔で動かす操作)が行えます。



カメラを動かす



こちらのコントロールボタンを使用してカメラを操作します。

矢印キー:上下左右の矢印をクリックすると対応した方向にカメラが動きます。

速度:数字を大きくするとカメラの動く速度が速くなります。また一回のクリックで動く距離も大きくなります。

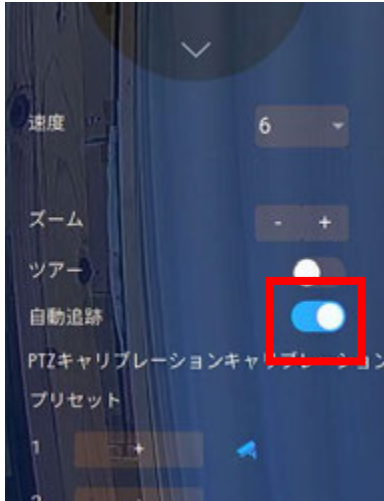
小さくすると反対に遅く、クリックでの移動距離が短くなります。微調整するときは遅くした方が調整できます。

ズーム:プラスとマイナスのボタンを押すとズームイン、ズームアウトの操作が可能です。

※W1 シリーズのカメラには現状実装されておりません。

オートトラッキング機能を有効にする（自動追跡）（AI 機能）

PT 機能があり、人体検知機能が搭載されているカメラの場合
オートトラッキング機能（人体検知した人物を自動で追いかける機能）が利用できます。



自動追跡: ボタンアイコンをクリックするとグレー表記が青くなります。青い状態が有効状態です。

有効状態でカメラの前を人が通るとカメラが一定の間自動で追跡を行います。

※カメラから人までの距離は3mほど離れた場所に設置してください。近すぎると反応しない場合があります。また通過する人の移動速度が早すぎる場合も同様です。

その他機能

ツアー: カメラが自動で動き広範囲を監視する機能です。

※必要のない場所にも動き、4時間で機能が切れてしまうので使用はお勧めしません。

プリセット: あらかじめ見たい場所を登録しておく機能です。カメラを見たい場所に向けた状態でプリセットの+ボタンを押すと登録できます。

カメラ移動後に登録してあるプリセットの「goto」をクリックすると登録した向きに自動で動きます。

※プリセットの最大登録数はモデルにより異なります。

カメラから警告音をだす（アラート）



アラート

こちらのボタンはカメラを全画面表示、単画面表示の場合のみ表示されます。

ボタンをクリックするとカメラから警報がなり、不審者に対して威嚇ができます。

メニューバー



ライブ映像画面が表示されているときにマウス操作を行うと画面下部に「メニューバー」が表示されます。

2025/01/30 14:24:00

レコーダー時間表示

レコーダーで設定されている時間を表示します。カメラそれぞれの時間とは若干ずれていますが、カメラとレコーダーの通信を行う際に遅延が発生するため正常動作です。カメラの時間はレコーダーの時間に同期します。



アラート

接続しているすべてのカメラから警報音を出すボタンです。チャンネルメニューの警報器ボタンはカメラ単体から音を出すメニューですが、こちらのボタンを使用した場合はすべてのカメラから警報音が出ますので使用はご注意ください。



録画再生

録画映像を再生します。



カメラの追加

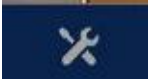
カメラの登録メニューを開きます。



分割画面

ライブ映像の分割表示を選択できる項目です。クリックで以下のようなパターンが表示されますので選択してください。別のメニューから詳細な分割表示の設定も可能です。





システム設定

システム設定メニューを表示します。



音量

レコーダーのスピーカから出力される音量を調節する項目です。



ネットワーク状態

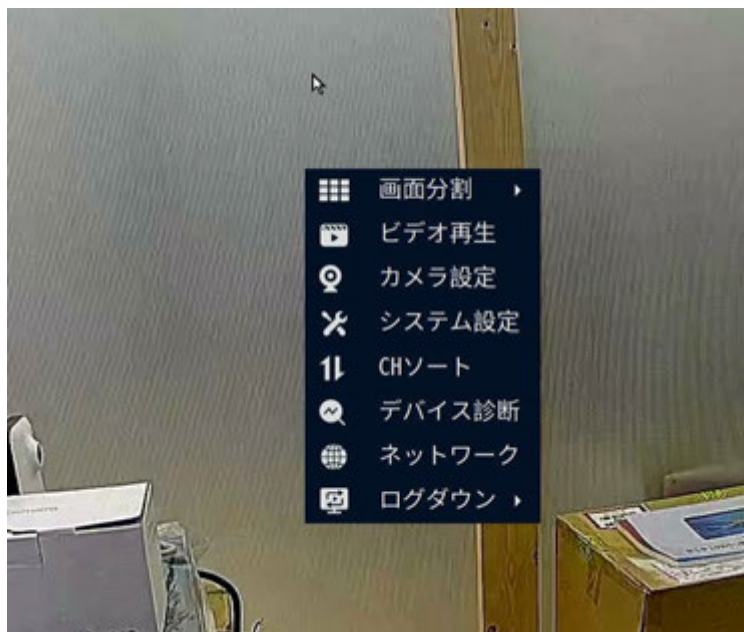
ネットワークの接続状態を表示します。クリックでネットワークメニューを開くこともできます。赤い×がついている場合はネットワーク(インターネット)に接続できていません。



QR コード表示・P2P ID

インターネット経由でアプリケーションにレコーダーを登録するための QR コードを表示します。

右クリックメニュー



ライブ画面上で右クリックを押すと各種項目へのショートカットメニューなどの項目が表示されます。各項目は以下の通りです。

画面を分割:ライブ映像の分割画面の表示数を選択する項目です。メニューバーのスクリーンメニューより、詳細な設定ができます。

ビデオ再生:ビデオの再生メニューへのショートカットです。

カメラ設定:カメラ設定メニューへのショートカットです。

システム設定:システム設定メニューを開きます。

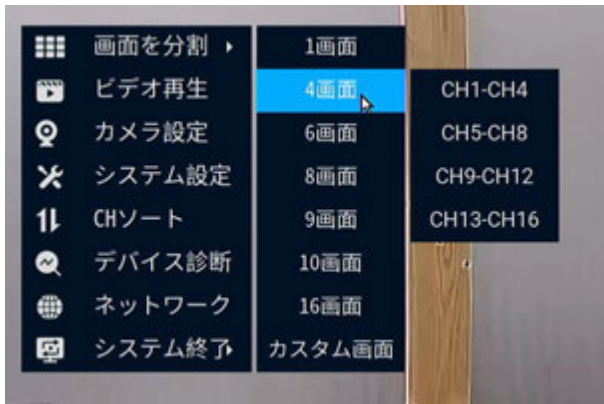
CH ソート:カメラの登録順を変更します。

デバイス診断:デバイス診断メニューへのショートカットです。

ネットワーク:ネットワークメニューへのショートカットです。

ログダウン:シャットダウンやログアウトを行う項目です。

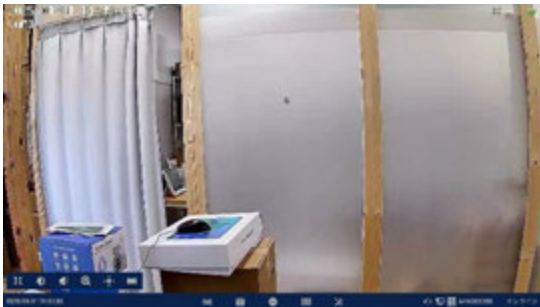
画面を分割する



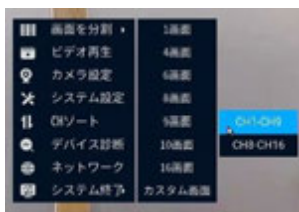
「画面を分割」項目にマウスカーソルを合わせると、上記画像のように分割画面数の選択が表示されます。

更に任意の分割数にカーソルを合わせると、その分割数で表示するチャンネルが選択できます。

任意のチャンネルをクリックすると分割画面を表示することができます。



単画面表示から



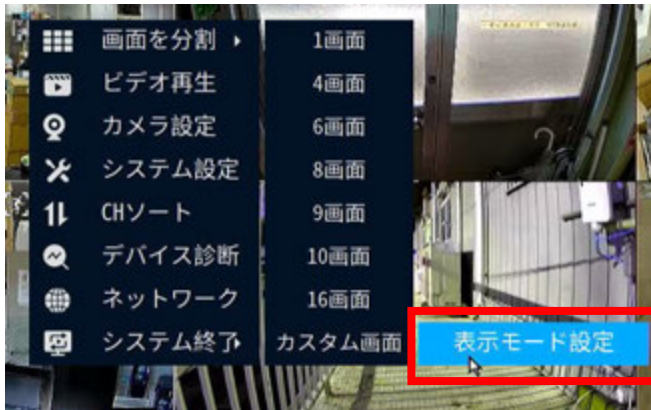
9画面、CH1-CH9 を選択



9画面表示になります。

画面を任意の分割数、チャンネル配置にする（カスタム画面）

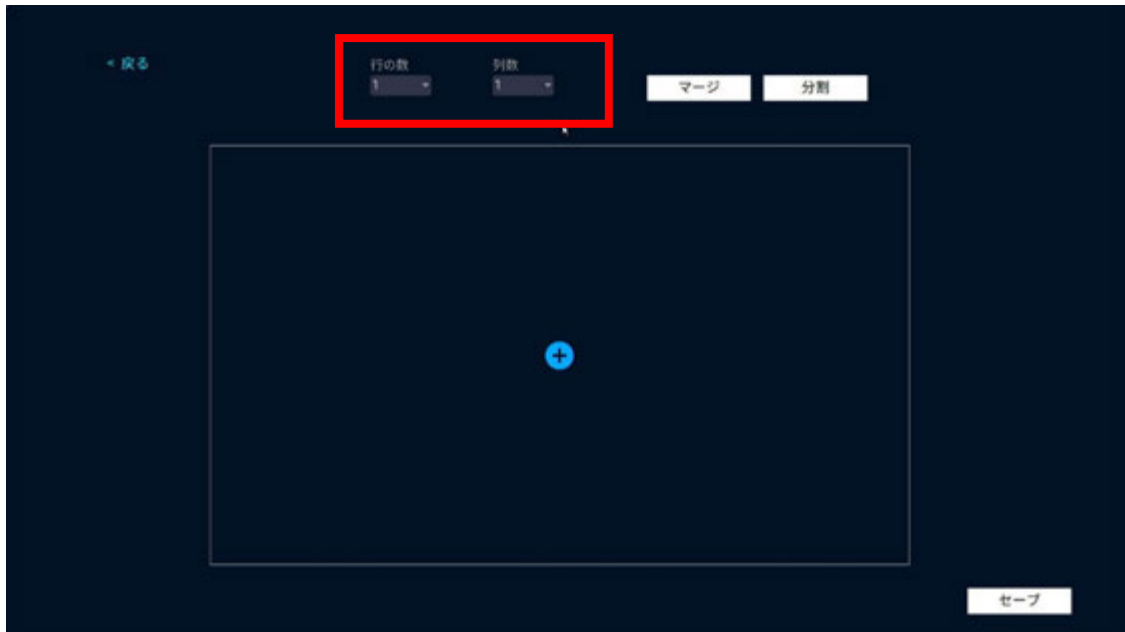
登録している台数や、見たいカメラだけをピックアップして画面の分割表示を行うことができます。
以下の手順で操作してください。



「画面を分割」メニューから、「カスタム画面」、さらに「表示モード設定」を選択します。

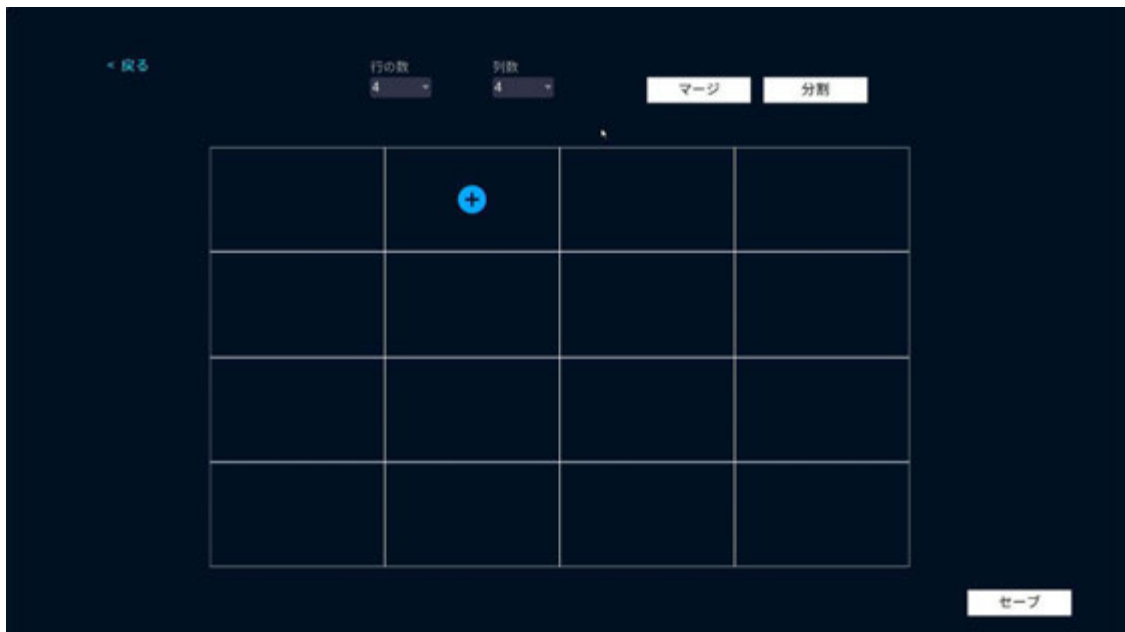


画像のような画面が表示されます。「追加」をクリックします。



上記のような画面が表示されます。

行数(横方向の分割数)、列数(縦方向の分割数)を選択します。



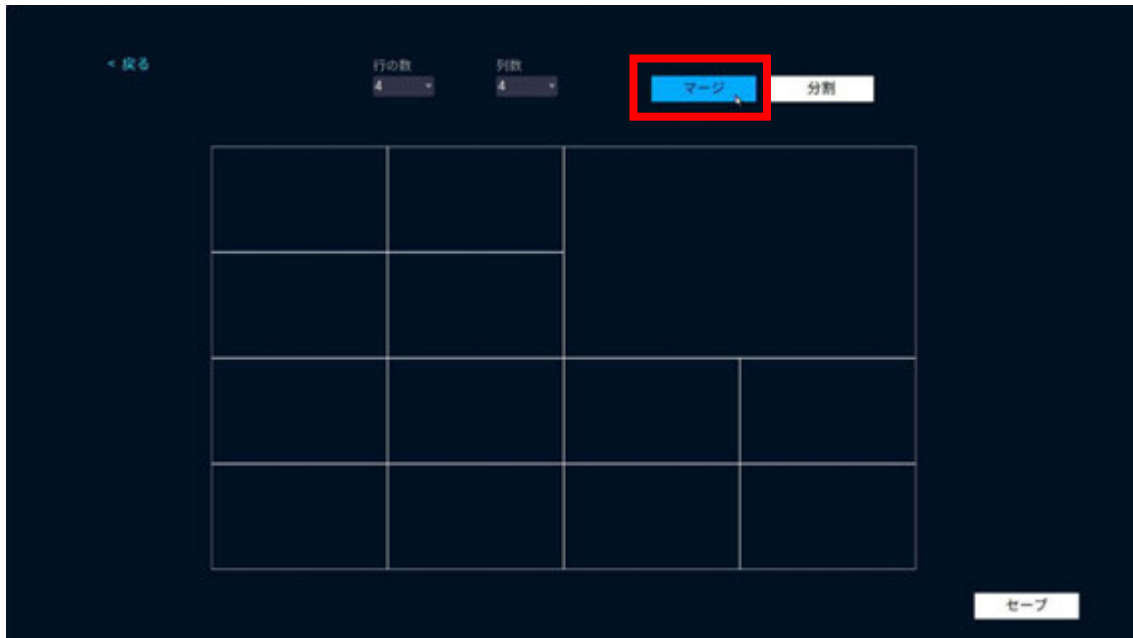
行数を4、列の数を4とすると上記のように分割されます。



分割された画面の中の、結合したい画面をマウスのドラッグで選択します。マウス操作でできる四角い枠が、結合したい画面の枠にかかるように操作してください。



選択された画面の枠が少し青くなるのが分かります。



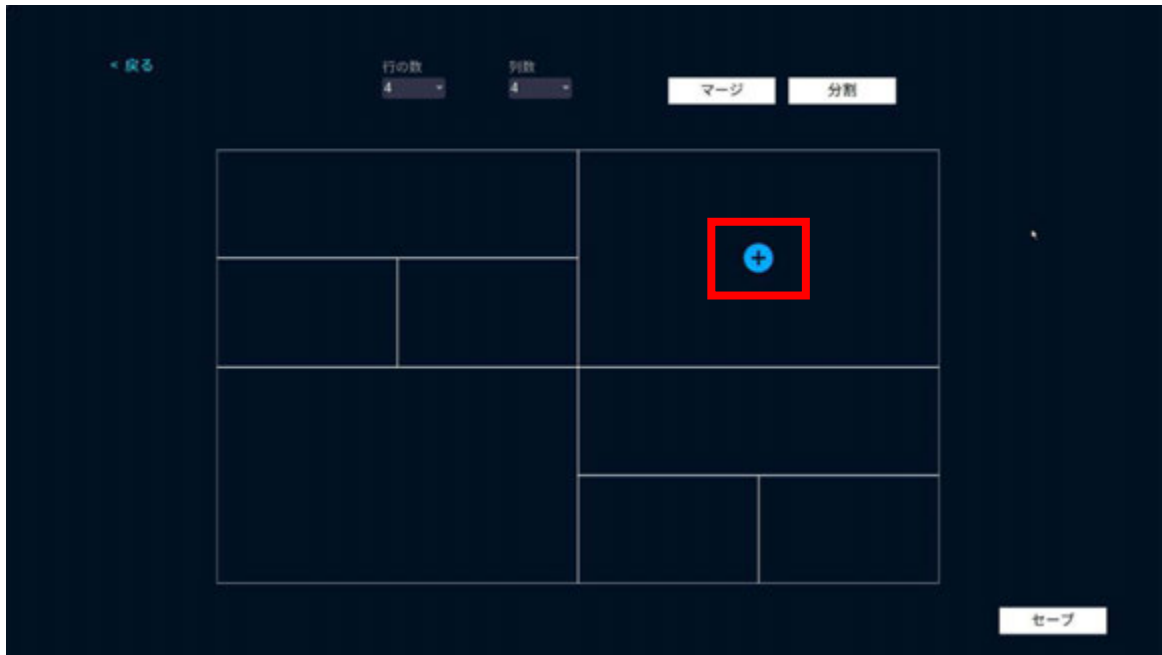
選択された状態で「マージ」ボタンをクリックします。

すると選択していた画面が上記のように結合されます。

同じ手順で任意の画面を結合操作してください。

結合は隣接する画面同士なら上下、左右どちらでも結合可能です。2画面から結合できます。

結合した画面をもとに戻したい場合は、結合した画面をクリックで選択し、「分割」ボタンをクリックしてください。



画面分割の編集が終わりましたら、各画面に表示するカメラチャンネルを選択します。
各画面にマウスカーソルを合わせると表示される+マークをクリックします。



上記のようなウィンドウが表示されますので、任意のチャンネルを選択してください。
選択すると黒い丸が青く表示が変わります。(白い四角はクリックしても選択できません)



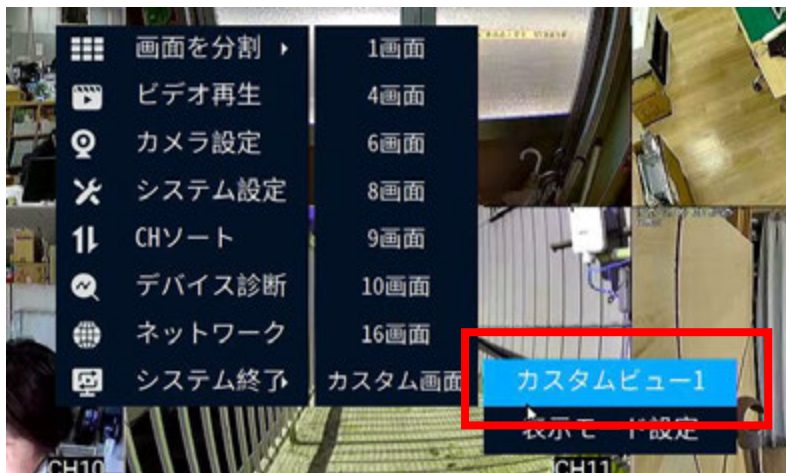
すべての画面にカメラチャンネルを割り当てたら、「セーブ」をクリックしてください。

登録したチャンネルを変更したい場合は各画面の左上に表示されている×ボタンをクリックしてください。

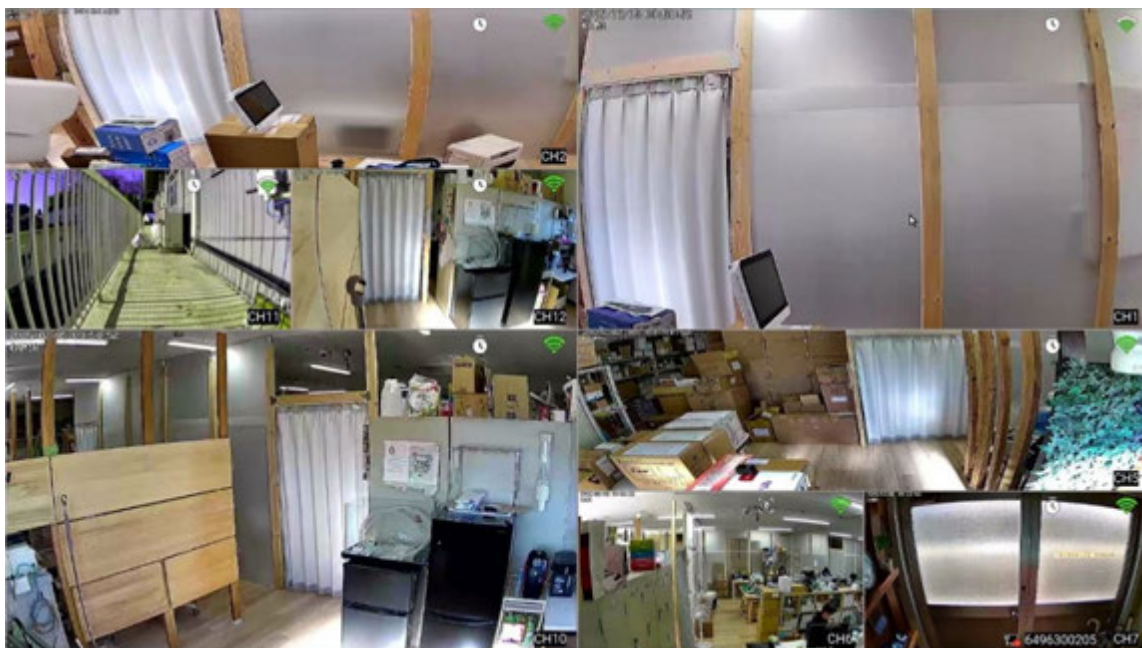


登録した分割画面の一覧に先ほど登録した画面分割が表示されました。

一度ライブ映像画面まで戻ります。



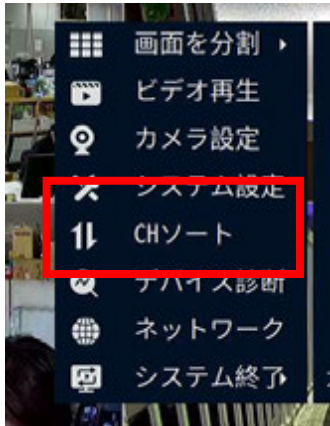
「画面を分割」項目から、「カスタム画面」項目を開くと先ほど登録した「カスタムビュー1」が選択できるようになっていますので選択します。



先ほど編集した内容の通り表示されます。

※カメラ画像は縦横比 16:9 が標準です。それ以外の比率の分割にした場合、(行3、縦4などとした場合は縦の比率が大きくなる)表示される映像は編集した画面の比率に応じて引き延ばされます。ただし、録画映像などに影響はありませんのでご安心ください。

ライブ映像のチャンネルを並び替える（CHソート）



「CHソート」をクリックで選択します。



上記のような案内が表示されますので、「OK」をクリックしてマウス操作のドラッグ、ドロップで画面を入れ替えます。



上記の画面内で、赤枠内の画面を入れ替える場合はどちらかの画面をクリックした状態でマウスを操作し、入れ替え先の画面上でマウスを離します。上記の場合、CH7の画面をクリックし、そのまま CH11の画面上までマウスを動かし、CH11の画面上で離します。



上記のように入れ替わりました。
 すべてのチャンネルの操作が終わりましたら左クリックで編集画面を終了します。
 編集後は画面の表示は最大分割数になっていますので再度任意の分割数に変更してください。

システム設定メニュー

システム設定メニュー内でできること、各種設定をご案内します。

システム設定は前項、メニューバー、または右クリックメニューから選択して表示することができます。



一般設定



言語やレコーダーの画面、HDMI 出力の解像度を変更する項目です。

言語を変更する



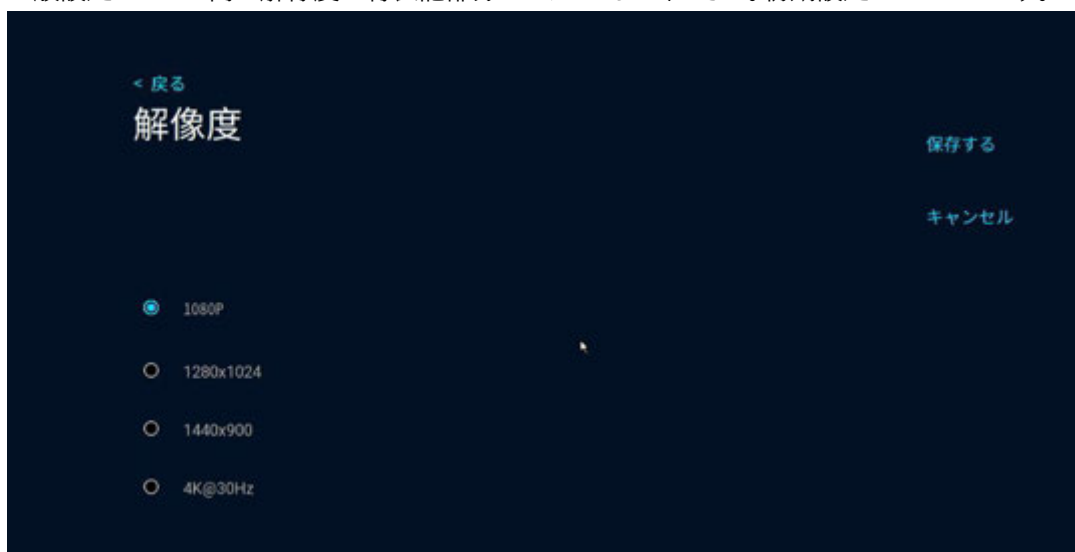
一般設定メニュー内の言語の、「日本語」の表記をクリックすると言語の選択、、メニューが表示されます。任意の言語を選んで「保存する」をクリックすると言語が選択できます。

モニター、HDMI 出力の解像度を変更する



本体モニター、HDMI 出力時の表示解像度は同一のものに設定されています。別々の解像度を選択することはできません。

一般設定メニュー内の解像度の青表記部分をクリックしてください。初期設定は 1080P です。



任意の解像度を選択して「保存する」をクリックしてください。

少し経つと画面が再表示され、変更した解像度が一時的に表示されます。



表示後に画面を確認して、変更してよければ「はい」、変更したくない場合は「いいえ」を選択します。20秒間操作がない場合は自動的に変更前の解像度に戻ります。

※4K 解像度はモニターレコーダー本体のモニターは表示に対応していないため真っ黒な画面になり上記の選択が使用できません。4K モニターなどに表示する場合は、事前に HDMI でモニターに接続した状態で解像度を変更し、HDMI で接続したモニターで操作を行ってください。以後、本体モニターは写らなくなりますのでお気を付けてください。解像度を4K 以外に変更すると再び映るようになります。

音の出力先を変更する（音声出力形式）



音声を出力する方法を選択できます。

初期設定では本体スピーカー、HDMI どちらからも出力する設定になっています。ドロップダウンメニューをクリックするとどちらかのみを設定に変更可能です。

また、本体イヤホンジャックからは「Speaker」設定の場合のみ音声出力されます。「HDMI」出力のみの場合はイヤホンジャックからは出力されません。

出力音量を変更する



音声の出力音量を変更できます。こちらの項目はメニューバーの設定と同一です。

カメラ設定



カメラの登録や、各種アラームの設定を行う項目です。

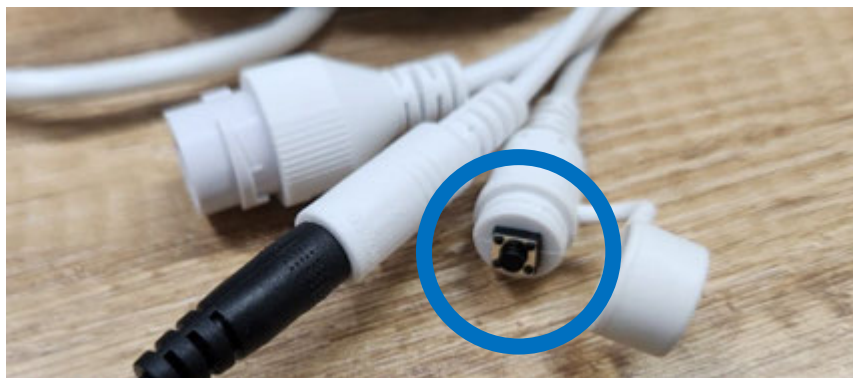
カメラの登録と削除

カメラを新規で登録する

カメラをあとから購入し新規で追加する場合は以下の手順で追加を行ってください。

購入したカメラに電源を入れ、カメラの電源ランプが光るまで待ちます。

電源ランプが光り、カメラが起動したらカメラのリセットボタンを長押しします。



カメラから音声メッセージが流れ、カメラが再起動するので少し待ちます。
※音声ガイダンスはカメラのモデル、ファームウェアで異なる場合がございます。

「ネットワークを設定してください」という音声がかかりますので、この音声が出たらレコーダーの操作を行います。



カメラ設定画面内の、プラスボタンをクリックします。



上記画面の次へをクリックします。



カメラを検索中ずと表示されますので少し待ちます。

先ほど電源を入れてリセットしたカメラが検索され、カメラから音声メッセージが流れます。「完了しました」というメッセージの後、画面内の一覧に新しいカメラが新規に追加されます。「次へ」へをクリックします。



追加したカメラの映像が出ていることを確認し、「次へ」をクリックして設定を完了します。

カメラを削除する

カメラを削除する場合は以下の手順で操作を行います。



カメラ設定の一覧内の、該当のカメラをクリックし、表示されたゴミ箱マークをクリックします。



メッセージが表示されるので「はい」をクリックします。

以上の操作でカメラが削除できます。

カメラの名前を変更する



カメラのそれぞれの表示名を変更できます。

カメラ設定内の、変更したいチャンネルをクリックで選択し、表示された上記画像赤枠内の編集ボタンをクリックします。



編集画面が開きますので、上記画像の青枠内をクリックします。

赤枠のようにソフトウェアキーボードが表示されますのでマウス操作で任意の名前に変更します。

英数字、記号のみ記入できます。日本語表示にはできません。

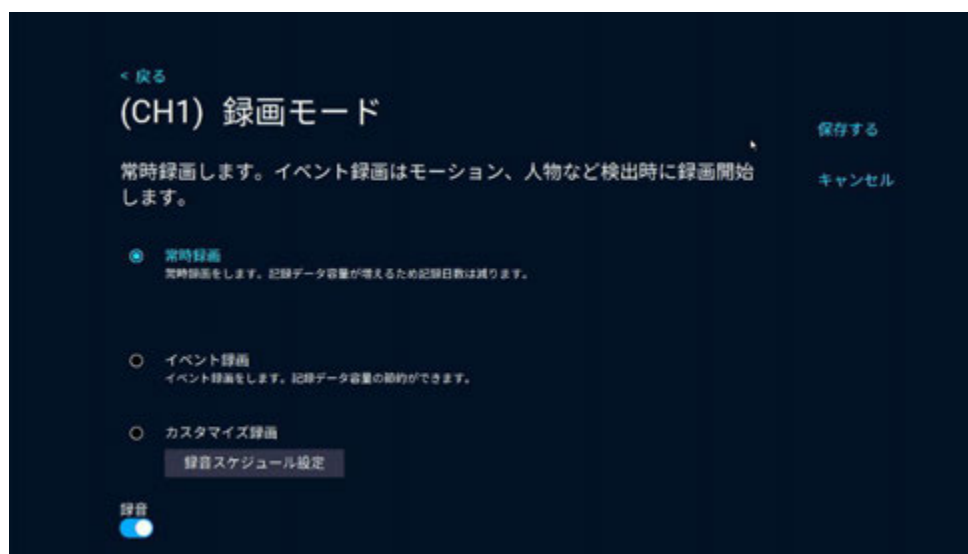
編集が終わりましたら「保存する」をクリックします。

変更した名前はカメラ映像内の表記に反映されます。

録画スケジュールを設定、変更する（録画モード）



チャンネルのリスト内から、設定を変更したいチャンネルを選択します。(青枠部分)
録画モードの項目の、青い文字(初期設定では常時録画)をクリックします。



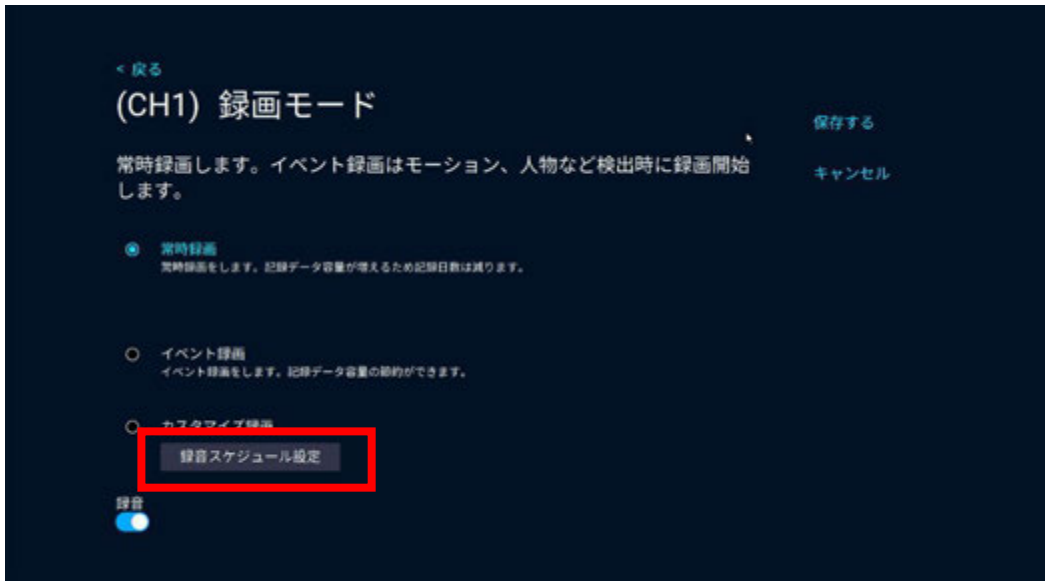
録画モードの設定画面が表示されます。

常時録画:常に録画を行う設定です。初期設定ではこちらが選択されています。

イベント録画:動体検知や人体検知が作動した場合のみ録画する設定です。別途検知設定が必要です。

どちらかを設定後、「保存する」で設定が有効になります。

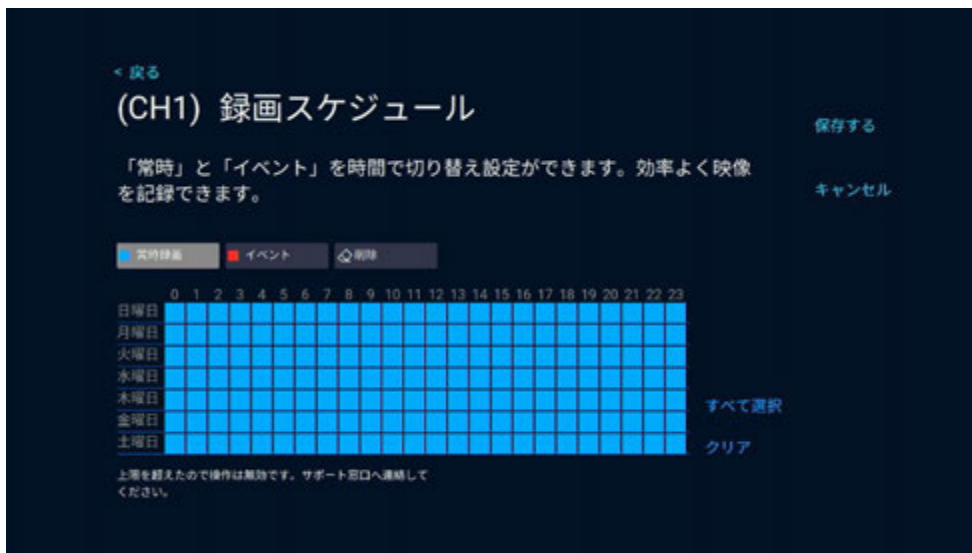
カスタマイズ録画の設定（カスタマイズ録画）



常時録画とイベント録画を組み合わせた録画を設定できます。

夜間は動きがあった場合のみ録画するなどの設定にしておくことで録画期間を延ばすなどの使用方法が可能です。

上記画像赤枠内の、「録音スケジュール設定」をクリックします。



上記のような画面が表示されます。

画面中央の表は、横軸が曜日、縦軸が時間となっており、曜日ごとに0時から23時までの1時間ごとでスケジュール設定が可能です。

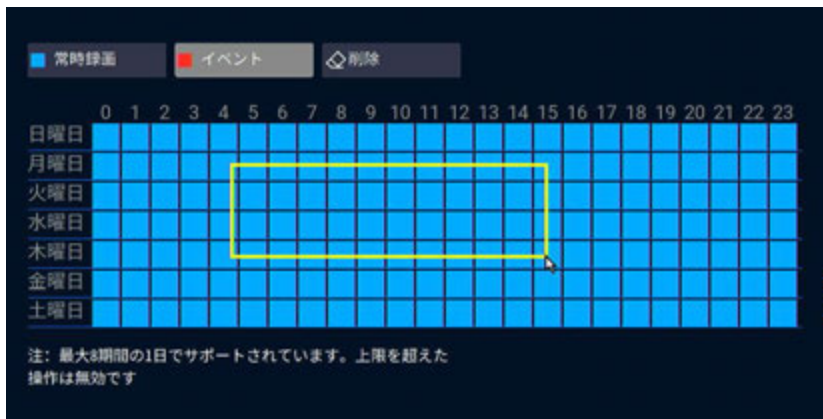
スケジュール設定を変更するには以下の手順で操作を行ってください。



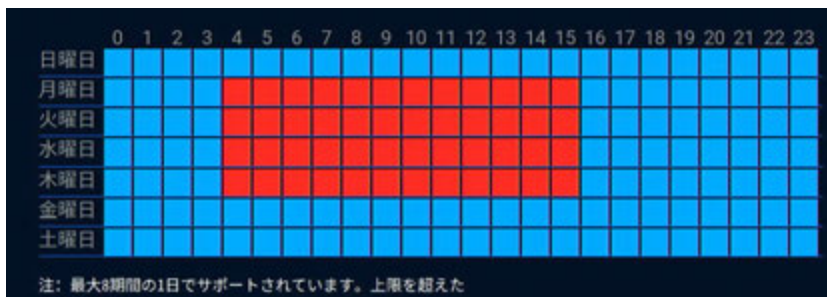
表内に設定したい録画モードのアイコンをクリックします。削除を選んだ場合はスケジュールを削除できます。



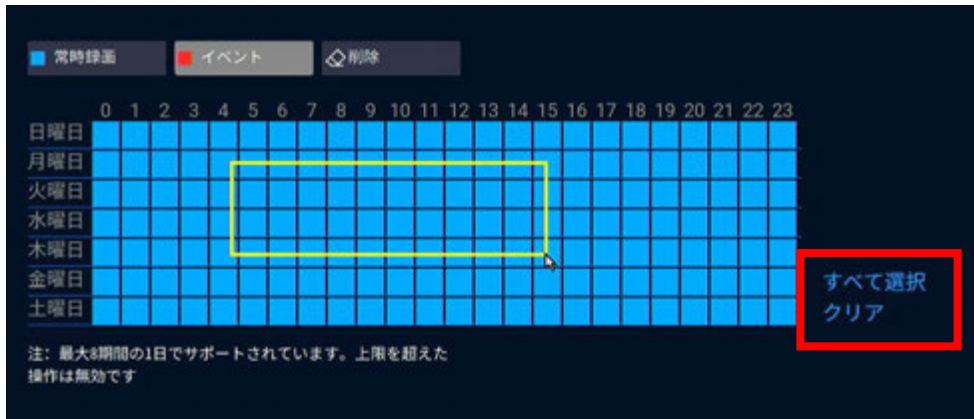
選択すると上記のように灰色にハイライトされます。



アイコンがハイライトされた状態で表内の任意の場所をドラッグすると黄色い枠が表示されますので、設定したい曜日、時間に黄色い枠がかかった状態でマウスを離します。



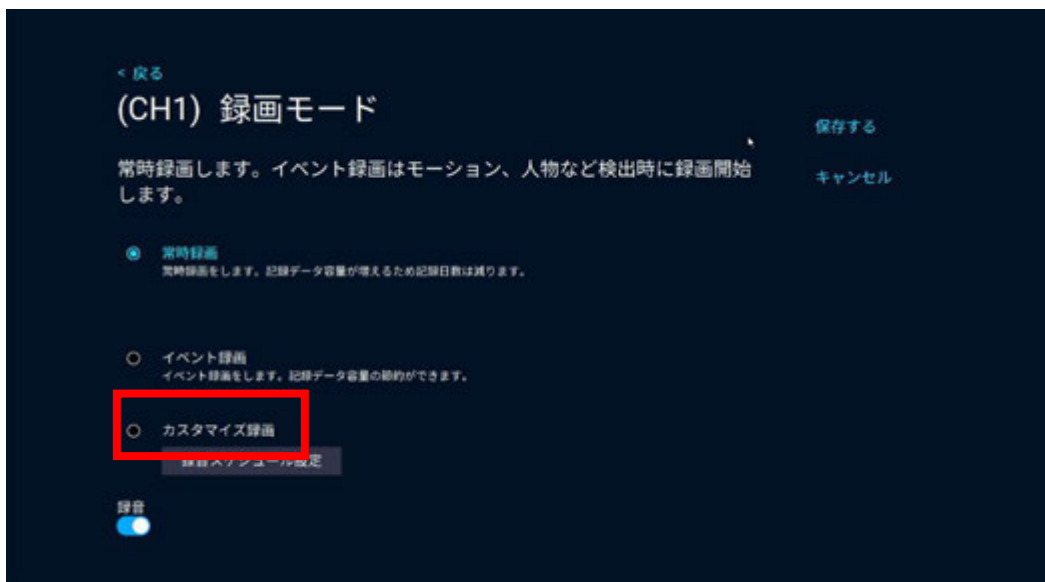
画像のようにイベント録画が設定されました。一か所のみを設定する場合はマウスクリックでも設定できます。



「すべて選択」:録画モードが選択された状態でこちらをクリックするとすべての時間が選択しているスケジュール設定になります。

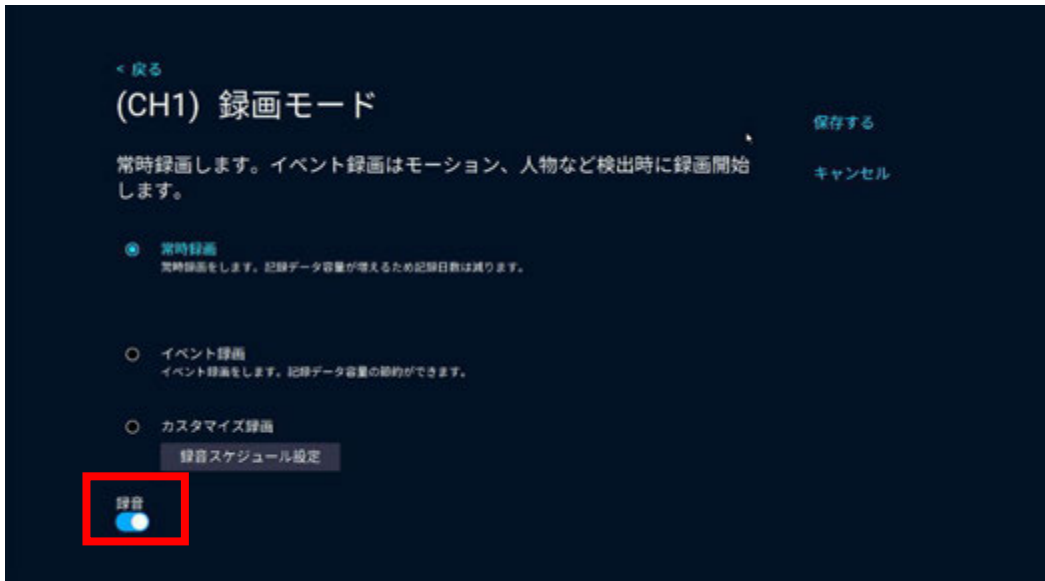
「クリア」:こちらをクリックするとスケジュールの選択にかかわらず表内の全てのスケジュールを削除します。削除された時間は灰色表記になり、その時間は一切の録画を行いません。ライブ映像は映り続けます。

設定完了後、「保存する」をクリックします。



設定後、設定した録画スケジュールを有効にするために「カスタマイズ記録」をクリックで選択しチェックを入れ、「保存する」をクリックしてください。

音声を動画に録音する、しないの変更（録音）



任意のチャンネルの録画モード画面を開き、上記赤枠内の「録音」項目のボタンをクリックすることで選択できます。青い状態の場合は録音する、黒い状態の場合は録音しない設定になっています。初期設定では録音する状態です。

人体検知、動体検知の設定を行う（イベント検出）（AI 機能）

人体検知とは

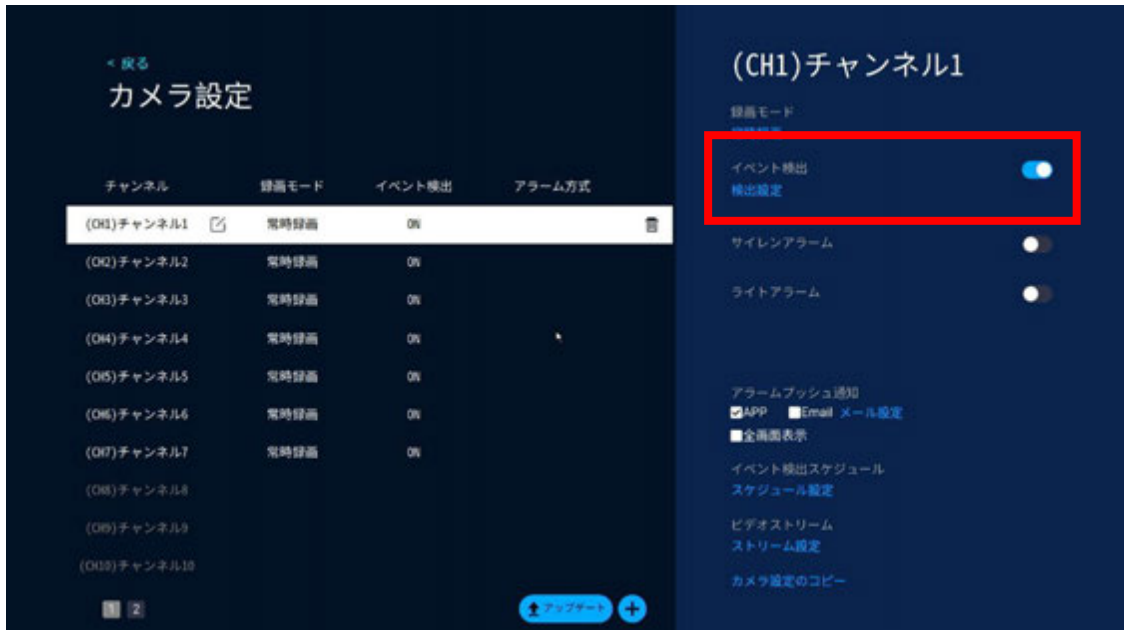
AI 機能の一種で、画面内に人が写った場合、映像を分析して人として認識する機能です。

動体検知とは

画面内の映像の変化に反応して検知する機能です。画面内の映像の変化のみを検知しますので、人やモノ、光の変化、色の変化など、画像が変化するすべての事象に対して反応します。

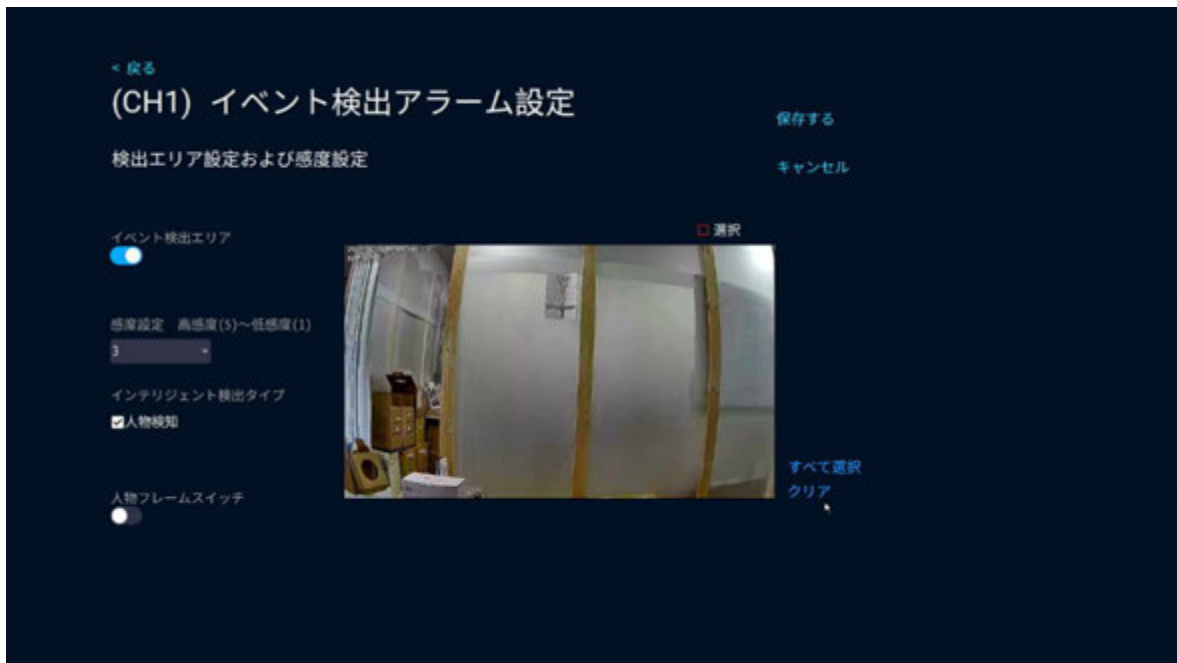
動体検知を設定する

以下の手順で設定します。

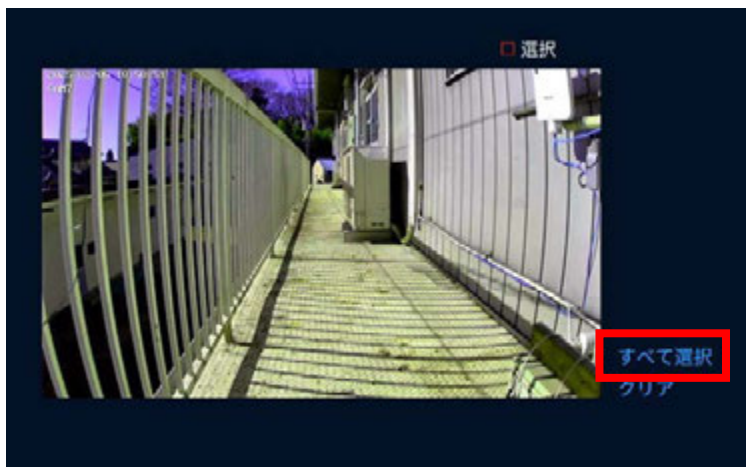


カメラ設定のチャンネル一覧から設定したいカメラを選択し、画像赤枠内の「イベント検出」の有効ボタンをクリックして有効にします。

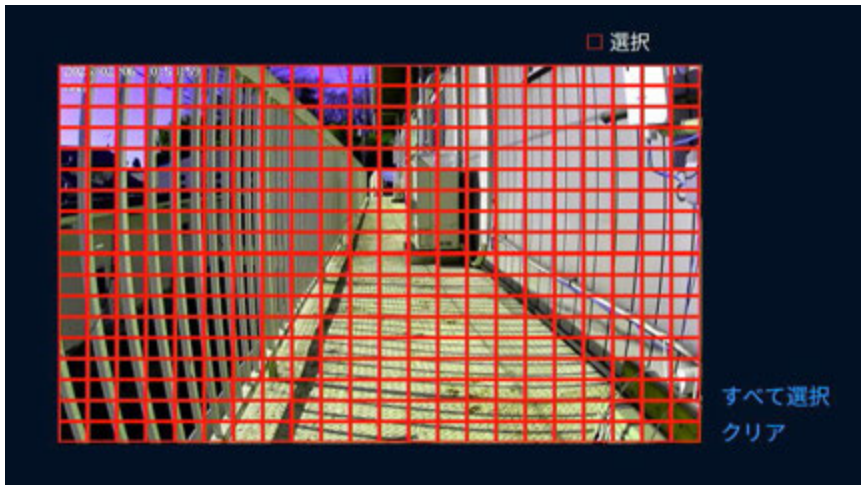
有効にすると「検出設定」が青文字表記になり選択できるようになりますのでクリックで選択します。



初期設定では上記画像のような設定になっています。
上記画像の設定は、カメラの画角内にイベント検出を行うエリアを設定していない状態です。
検知エリアを設定することで動体検知が有効になります。



画角内の全ての範囲を設定する場合は「すべて選択」ボタンをクリックします。



上記画像のように赤い線が映像内全ての範囲に表示されます。この状態の場合は映像内の全てのエリアで動体検知が有効になります。

画角内の一部のエリアのみを選択することも可能です。その場合は表示されている画面上をマウスでドラッグドロップすることで任意のエリアを選択できます。

設定ができましたら「保存する」をクリックしてください。

動体検知を有効にすると録画データにも動体検知の設定が反映されます。録画データは動体検知が作動した部分で録画データを分割するため、動体検知が頻繁に作動する場合録画データのバックアップが大変になるというデメリットもございますので、使用はその点をご留意いただきますよう、よろしくお願いいたします。

人体検知（AI 機能）を有効にする

動体検知のエリア設定を行ったうえで、人体検知を有効にすると画面内の人を認識できるようになります。
※人体検知のみ有効の設定は出来ません。必ず動体検知と一緒に使用することになります。



前項の通り、検出エリアの設定ができていない状態のカメラに設定を行います。検出エリアの設定がされていない場合は人体検知を有効にしても動作しません。



上記画像、青枠内の「インテリジェント検出タイプ」の、「人物検知」をクリックし、チェックを入れます。
設定が終わりましたら「保存する」をクリックしてください。



ライブ映像内で人が検知された場合、上記画像赤枠のように人体検知マークが表示されます。

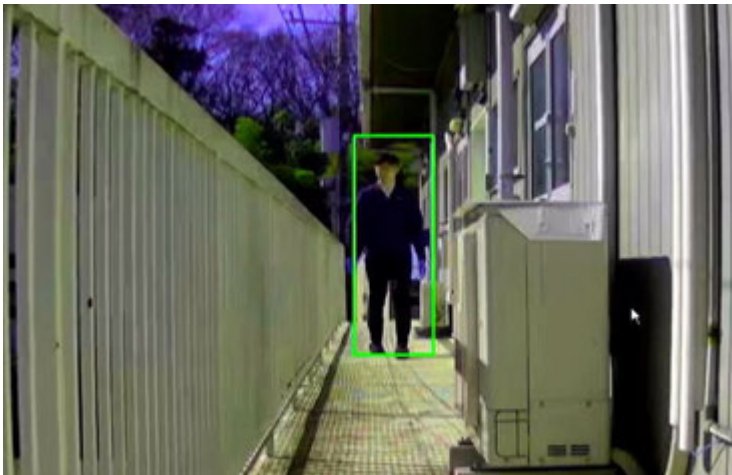
人体検知機能は録画データにも反映され、あとから人が写った部分のみを再生などができるようになります。

人体検知をした場合に枠が表示されるようにする（人物フレームスイッチ）

前項の設定に加え、次の設定を行うと人体検知を行った場合に対象(映った人)に対して映像中に緑の枠を表示し、どの人物に反応しているかを視覚的に分かりやすくなります。



イベント検出設定内の、「人物フレームスイッチ」項目をクリックし有効(青色の状態)にしてください。
設定が終わりましたら「保存する」をクリックしてください。



上記のように緑の枠が表示されるようになります。

こちらの枠はライブ映像、録画映像どちらにも表示されます。

各種アラームを設定する（サイレンアラーム、ライトアラーム、アラームプッシュ通知）

イベント検出（動体検知、人体検知）を有効にすると、それぞれの検出が行われた際にアラームを出すことが可能になります。

アラームは設定したカメラから、音声、ライト（ホワイトライト搭載モデルのみ）、または両方を使用して出すことができ、またインターネット経由でアプリケーションやメールで通知を出すことも可能です。



イベント検出が有効（青い状態）になっていることを確認してください。

また、イベント検出が有効になっているとチャンネル一覧のイベント検出欄のステータスが「ON」表示になりますのでこちらでも確認できます。

イベント検出が有効になっている場合に次のようなアラームが利用できます。

カメラから警報音を出す（サイレンアラーム）



動体検知、人体検知が行われた際に警報音を出すことができます。



「サイレンアラーム」をクリックし、有効(青い状態)にします。

有効にした場合、チャンネル一覧のアラーム方式欄に「サイレン」と表示されます。

この状態でイベント検出がされた場合、カメラ本体のスピーカから警報音が発報されます。

※音が出ますので周囲環境に配慮して機能をご利用ください。

※音のボリュームは変更できません。環境によって聞こえにくい場合もございます。

カメラから警告光を発する（ライトアラーム）



動体検知、人体検知が行われた際にライトによる警告を出すことができます。

※こちらの機能はホワイトライト搭載モデルのみの機能です。ライトが搭載されていない場合使用できません。

The screenshot shows the camera settings interface. On the left, the 'カメラ設定' (Camera Settings) screen displays a list of channels from (CH1) to (CH10). The 'LED' option is highlighted in a red box. On the right, the '(CH1)チャンネル1' (Channel 1) settings screen is shown. The 'ライトアラーム' (Light Alarm) option is highlighted in a red box and is turned on (blue indicator).

チャンネル	録画モード	イベント検出	LED
(CH1)チャンネル1	常時録画	ON	LED
(CH2)チャンネル2	常時録画	ON	
(CH3)チャンネル3	常時録画	ON	
(CH4)チャンネル4	常時録画	ON	
(CH5)チャンネル5	常時録画	ON	
(CH6)チャンネル6	常時録画	ON	
(CH7)チャンネル7	常時録画	ON	
(CH8)チャンネル8			
(CH9)チャンネル9			
(CH10)チャンネル10			

「ライトアラーム」をクリックし、有効(青い状態)にします。

有効にした場合、チャンネル一覧のアラーム方式欄に「LED」と表示されます。

この状態でイベント検出がされた場合、カメラ本体のLEDライトが発光し威嚇できます。

※光が出ますので周囲環境に配慮して機能をご利用ください。

※LEDの光量は変更できません。

アプリケーション経由で通知を送る（アラームプッシュ通知、APP）

遠隔監視アプリケーションを使用した場合、インターネット経由でスマートフォンなどに通知を送ることができます。アプリケーションの説明はここでは割愛します。別途アプリケーションの使用方法をご確認ください。



「アラームプッシュ通知」項目の、「APP」をクリックし、チェックを入れてください。

この状態でイベント検出が行われた場合、アプリケーションに通知が送られます。アプリケーション側ではその時の写真や録画を確認することができます。

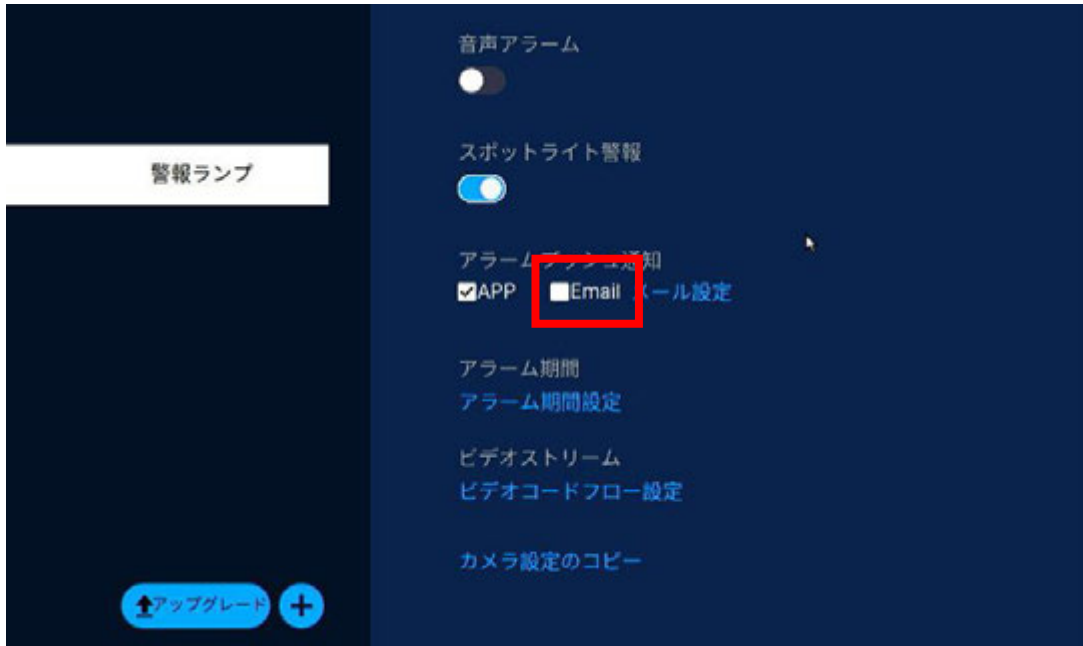
※この設定を使用するためには設置場所にインターネット環境が必要です。

メールで通知を送る（アラームプッシュ通知、Email）

イベント検出が行われた場合にメールによる通知を送ることもできます。

※使用するメールサービスによっては使用できない場合もございます。

※メールサービスの設定のサポートは行っておりません。メールサービスを提供している事業者へお問い合わせください。



「アラームプッシュ通知」項目の、「Email」をクリックし、チェックを入れてください。



「メール設定」をクリックしてください。



メールの設定画面が開きます。
「より多くのパラメータ」をクリックしてください。



メール設定の詳細画面が開きます。
使用するメールサーバーの情報を入力して、「テストメールを送信」をクリックしてください。
指定したサーバーから、指定したメールアドレスにメールが送信されていれば設定完了です。
「保存する」をクリックしてください。

アラーム期間を設定する（アラーム期間）

イベント検出が行われる時間帯を設定できます。



「アラーム期間」項目の、アラーム期間設定をクリックしてください。



4つのパターンから設定ができます。

終日:24時間有効になります。

日中:午前8時から、午後8時までの12時間検出が有効になります。

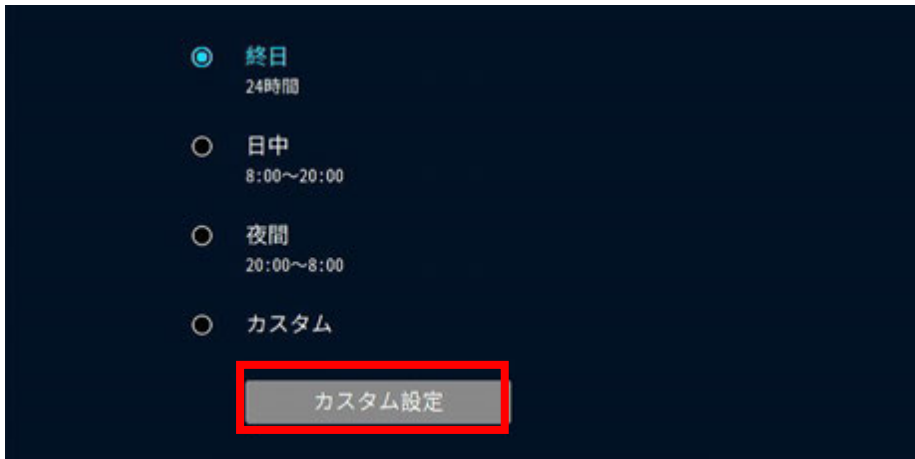
夜間:午後8時から、翌日午前8時までの12時間検出が有効になります。

カスタム:任意の時間を設定します。

選択後、「保存する」をクリックしてください。

アラーム期間を設定する（カスタム期間）

任意の時間を設定する場合はカスタム期間を設定してください。



カスタム期間をクリックしてチェックを入れます。

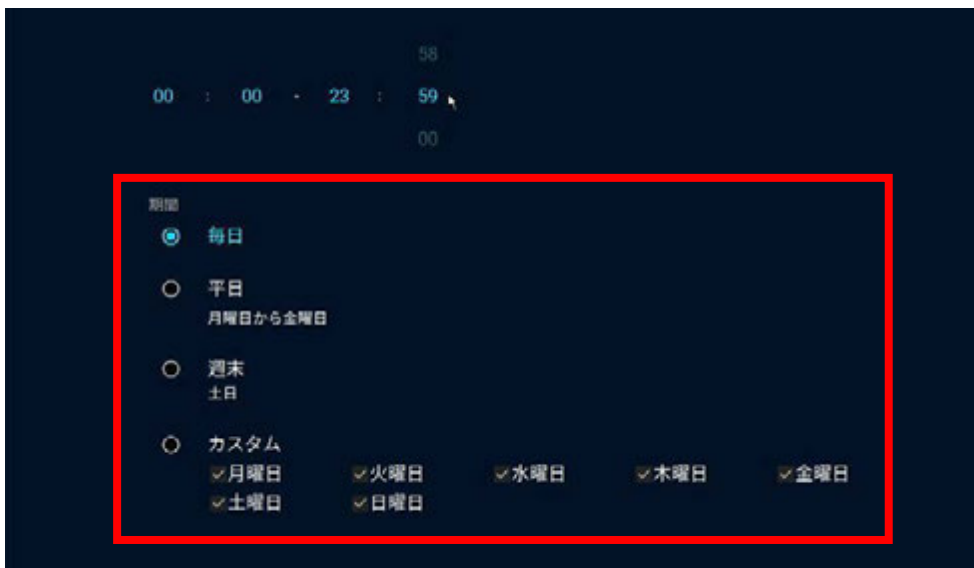


期間設定がクリックできるようになりますので、クリックで選択します。



カスタム期間の設定画面が表示されます。

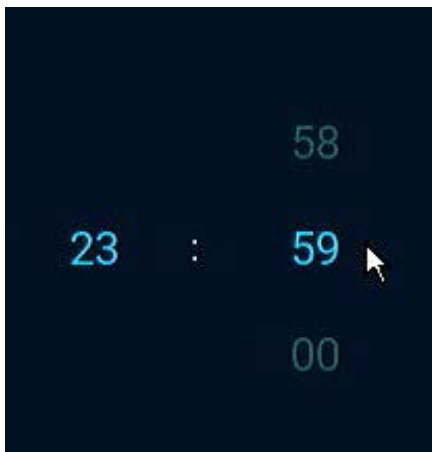
期間は4つ設定でき、1から順に優先順位が高くなります。それぞれ設定したい期間の、青い数字部分をクリックで選択します。



アラームを有効にする曜日を選択します。「毎日」「平日」「土日」から選択するか、「カスタム」を選択し任意の曜日を選択してください。



曜日を選択したら1日の中で何時何分から、何時何分まで有効にするかを設定します。



マウスカーソルを各数字の上に移動すると上下に、前後の時間の表示が現れます。現れた数字をクリックすることで数字が変更できます。

また、マウスのホイールを回すことでも時間の変更ができます。

設定ができましたら「保存する」をクリックしてください。

カメラの設定情報をほかのカメラにコピーする（カメラ設定のコピー）

一つのカメラで設定した内容をほかのカメラにコピーして反映させることができます。



チャンネル一覧から、設定をコピーしたいチャンネルを選択した状態で「カメラ設定のコピー」をクリックします。



上記の設定ウィンドウが表示されます。

録画モード:チェックを入れた場合、録画スケジュールの情報がコピーされます。

アラーム設定:イベント検出、各種アラームの設定がコピーされます。

項目を選択して「OK」をクリックします。



「OK」をクリックするとチャンネルの左側に丸いチェックボックスが表示されますので、コピーしたいチャンネルをクリック操作で選択します。
一番上の丸にチェックを入れるとすべてのチャンネルが選択されます。

チェックを入れた後「適用」をクリックすると設定が保存されます。

日付/時刻



モニター本体の時刻設定に関するメニューです。

時間を修正する

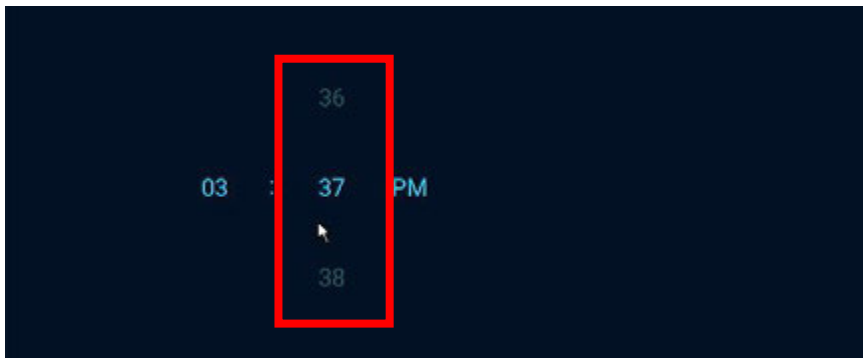
本レコーダーをインターネットに接続しない状態で使用を続けると、実際の時間と内部の時間の間隔のずれから時刻がずれていきます。その場合はこちらのメニューから時刻の修正を行います。



時間の地頭設定項目をクリックし、無効(グレーの状態)にしてください。(初期設定は有効です)



無効にすることで時間項目の時刻の部分が青くなり、クリックで選択できる状態になります。この状態で時刻の青い文字部分をクリックで選択します。



マウスカーソルを各数字の上に移動すると上下に、前後の時間の表示が現れます。現れた数字をクリックすることで数字が変更できます。

また、マウスのホイールを回すことでも時間の変更ができます。

設定ができましたら「保存する」をクリックしてください。

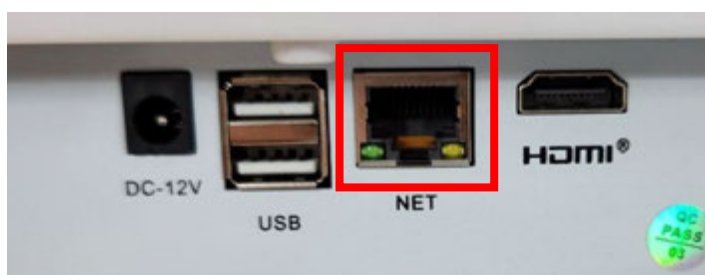
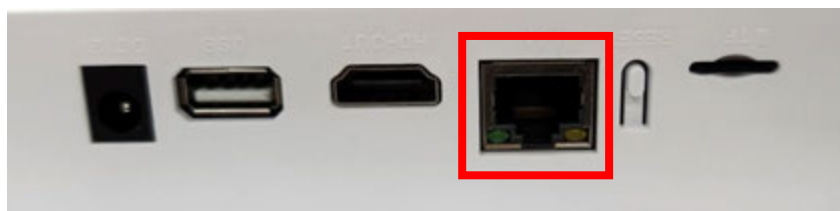
ネットワーク



インターネットへの接続や、WiFi の設定(カメラとレコーダーの無線接続の設定)を行う項目です。

インターネットに接続する（ルーター接続（有線））

有線接続でインターネットに接続します。



本体の有線 LAN ポートに、付属の LAN ケーブルを接続します。
カチッと感触があるまでしっかり遠くまで差し込みます。



LAN ケーブルのもう片方のコネクタはご利用中のルーター、またはインターネットに接続できる HUB やスイッチの空いている LAN ポートに差し込みます。

< 戻る

ネットワーク設定

有線インターネットを利用する場合：ルータ接続する必要があります。ワイヤレスインターネットを利用する場合：WIFIルータ接続する必要があります。

ルーター接続 (有線) ルーター接続 (無線) 無線カメラの設定 中継器設定 ネットワークサービス

ネットワーク設定

DHCP

IPアドレス
192.168.2.48

ゲートウェイ
192.168.2.1

マスク
255.255.255.0

プライマリDNS
192.168.2.1

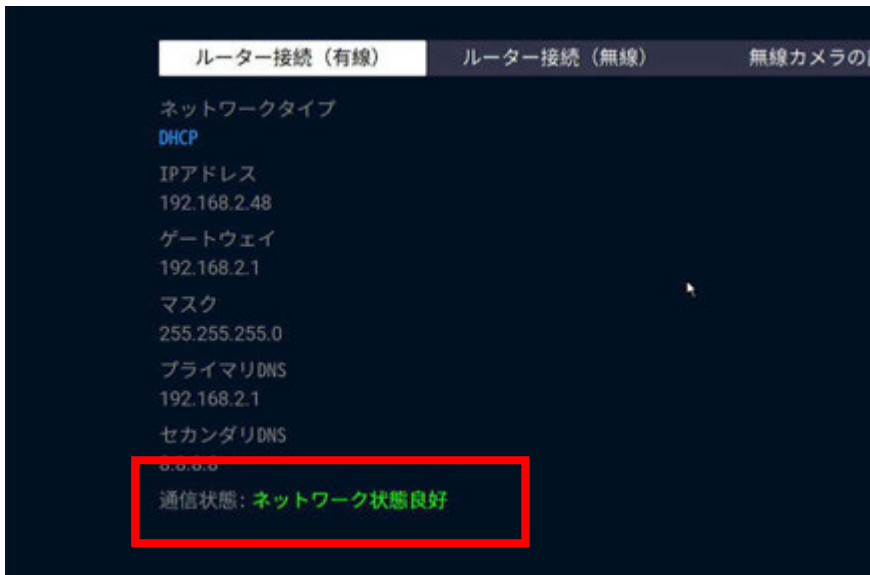
セカンダリDNS
8.8.8.8

通信状態: ネットワーク状態良好

ネットワーク設定の、「ルーター接続(有線)」をクリックしてください。



ネットワークタイプが、「DHCP」となっているか確認します。
※初期設定は DHCP です。



少し待つと、通信状態が「ネットワーク状態良好」となります。

これでインターネットへの接続は完了です。

※上記の表示にならない場合、LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
LAN コネクタのランプが点灯、または点滅していることを確認して下さい。消灯状態の場合は接続がうまくできていませんのでコネクタを抜き差しして確認してください。
ルーターによっては使用できない LAN ポートがある場合があります。
ルーターメーカーに確認してください。

また、社内ネットワークなど、別途ネットワーク設定を行っている場合は DHCP 機能が使用できない可能性があります。

その場合は「DHCP」をクリックし、「静的」に変更し手動で設定してください。

インターネットに接続する（ルーター接続（無線））



本機は有線接続以外でも、WiFi 通信を使用してインターネットへの接続が可能です。
ただし、本機能を使用する場合は以下の点に注意してください。

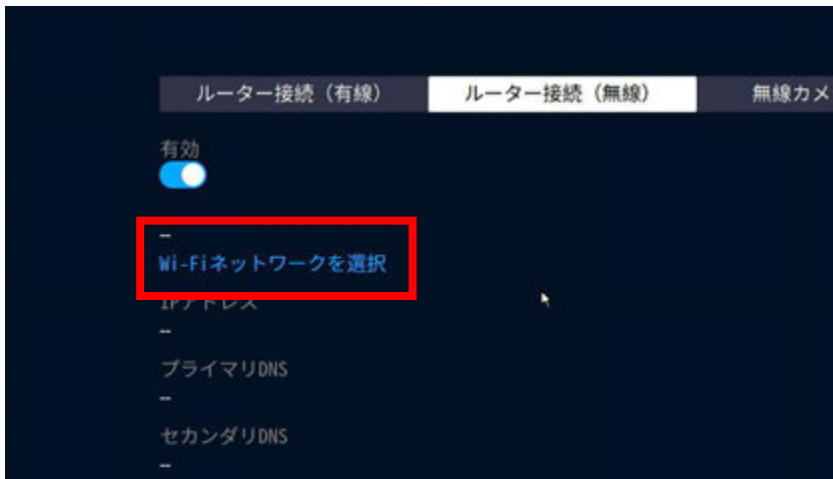
- 設置場所に WiFi アクセスポイントが必要です。
WiFi ルーター、WiFi アクセスポイントなど、WiFi を使用してインターネットへの接続が可能な機器が必要です。
(設置現場で、スマートフォンなどで WiFi でインターネットへ接続しているなら使用可能です)
- 遠隔監視時に接続不安定になる場合があります
有線接続と違い、WiFi 接続の場合は電波環境で接続が不安定になる場合があります。
その場合は遠隔監視時に遅延や切断が発生する場合がございますのでご注意ください。



ネットワーク設定の、「ルーター接続(無線)」をクリックしてください。



「有効」ボタンをクリックして、有効(青色の状態)にしてください。

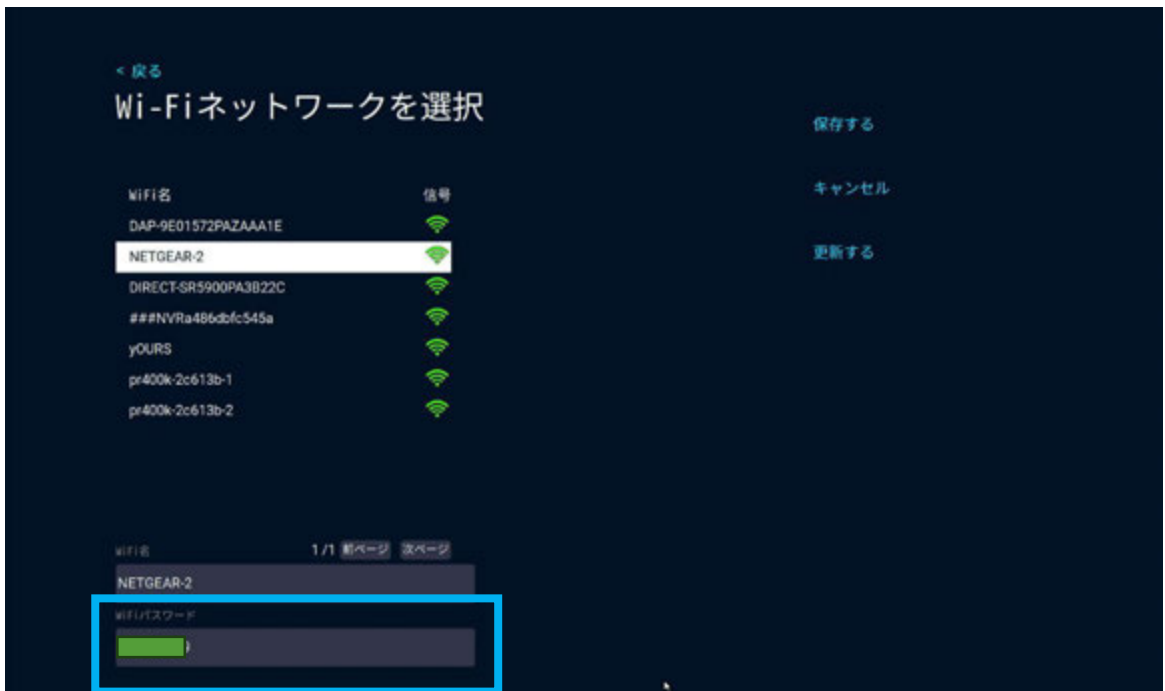


「Wi-Fi ネットワークを選択」という項目が青色になり選択できるようになりますのでクリックで選択してください。



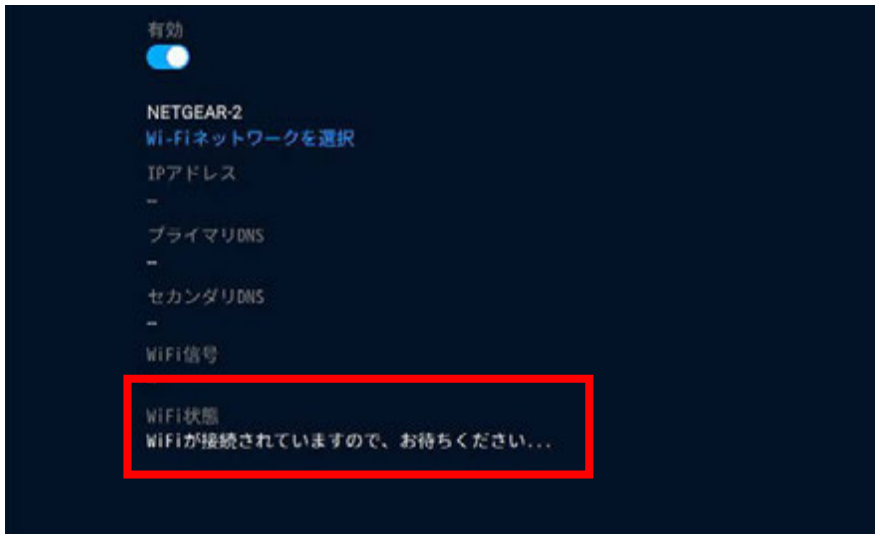
使用できる WiFi アクセスポイントの名前 (ESSID) が表示されますので (赤枠内)、表示された一覧の中から接続したい名前をクリックで選択します。

選択した名前が画像青枠内の「WiFi 名」に自動で入力されます。

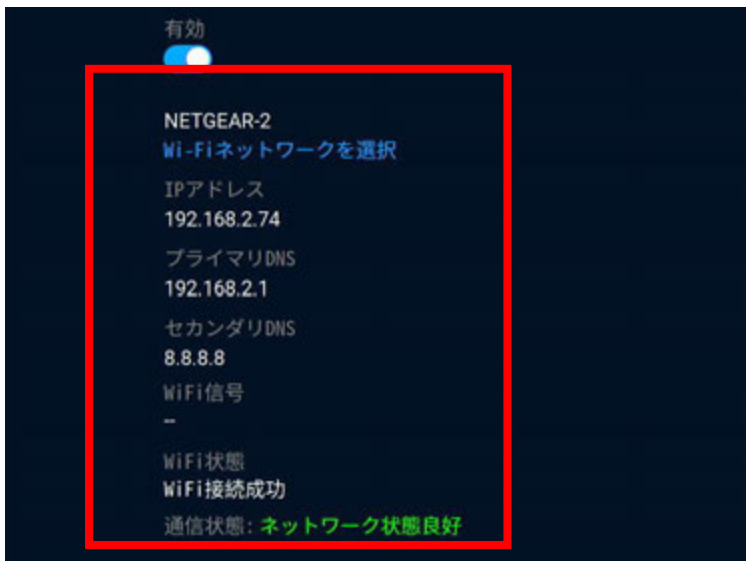


「WiFi パスワード」に、その WiFi アクセスポイントへ接続するためのパスワードを入力してください。パスワードは別途ご確認ください。

設定が完了したら「保存する」をクリックします。



上記の画像のようにメッセージが表示されますので、少し待ちます。



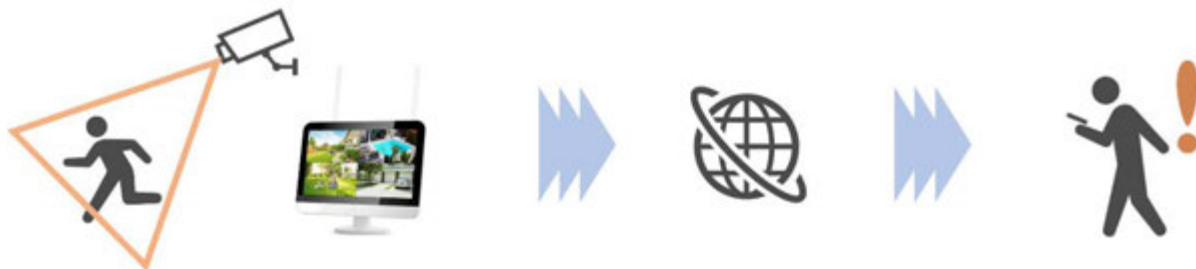
接続が完了すると上記のように接続情報が表示されます。

以上でワイヤレスによるインターネット接続は完了です。

※接続にならない場合は、設定項目内で正しい名前が選択されているか、パスワードを入力できているかをご確認ください。

また、電波状況が悪い場合も同様に接続できない場合がございます。アクセスポイントと本機の距離を調整するなどしてください。

スマートフォンを使用した遠隔監視



本製品はインターネットに接続した状態で、スマートフォンに専用のアプリケーションをインストールすることにより、離れた場所からインターネット経由でいつでも映像の確認や各種アラームを受け取ることが可能です。

インターネットへの接続を確認する

遠隔監視を行う場合、無線、もしくは有線でインターネットに接続する必要があります。本取扱説明書、「ネットワーク」項目を確認いただき、いずれかの方法でインターネットに接続してください。

また、WiFiを使用したインターネット接続の場合、通信状況によっては画像の閲覧に不都合が起こる場合がございます。その場合は有線接続での使用をお勧めいたします。

レコーダーのアカウント情報を確認する

遠隔監視には以下の情報が必要です。

- ・レコーダーへログインするときの「ユーザー名」・パスワード
- ・レコーダーの ID

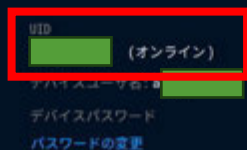
レコーダーの ID はシステム設定の、「アカウント・APP」から確認ができます。



< 戻る

アプリのダウンロード

1. 右側のQRコードをスキャンしてAPPをダウンロードしインストールします。アカウントを登録し完了してください。
2. 下記のQRコードをスキャンしAPPより現在のデバイスを追加します。いつでもどこでもカメラのリアルタイム映像が取得できます。またカメラが何かを検出した場合にメッセージ通知も受信できます。



APP



「アカウント・APP」を開くと、上記の画面が表示されます。

画像内赤枠部分の、「UID」と表示されている数列がレコーダーの ID となります。

この時、正常にインターネット接続ができていれば(オンライン)と表記がありますのでこちらも併せて確認をお願いします。

アプリケーションの操作（スマートフォンの操作）

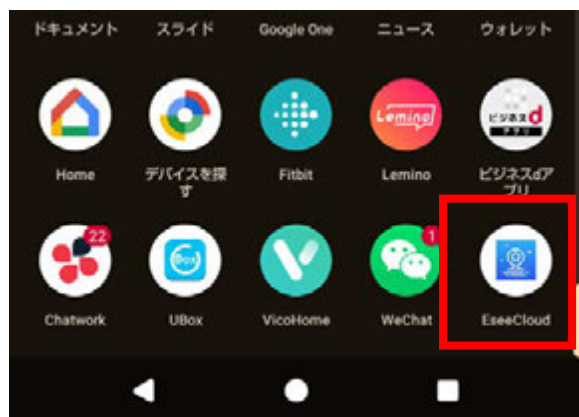
アプリケーションのインストール

ご利用のスマートフォンでアプリケーションストアを開き、「esee cloud」と入力してください。
アンドロイドスマートフォンの場合は Play ストア、 아이폰の場合は apple store で検索してください。



左の画像のアイコンのアプリをインストールしてください。

インストールが完了したらスマートフォンにインストールされたアプリケーションを開きます。



ヒント

ご利用いただきありがとうございます。私たちは個人情報とプライバシーの保護を非常に重要視しています。お客様の個人的権利をより適切に保護するため、当社の製品を使用する前に「[プライバシーポリシー](#)」および「[ユーザー契約](#)」をよく読み、完全に理解してください。上記内容を踏まえて：

1.当社は、お客様の個人情報およびその他の規則、ならびにお客様のユーザー権利を収集/保存/使用/提供/保護します。

2.責任の制限および免除条項に関する合意。

「同意する」をタップすると、上記のすべての内容を読み、同意したことになります。

同意しない

同意

アプリケーションを開くとプライバシーポリシーとユーザー契約の確認項目が出ますので両内容をよく読み、内容に同意できる場合のみ「同意」をタップしてください。こちらの内容に同意しアプリケーションを使用した場合、アプリケーションの使用に関するトラブルに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

ご留意の上ご使用ください。

ユーザー登録を行う

本アプリケーションは使用にあたって必ずユーザー登録が必要です。

ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。ご使用のスマートフォンでご使用になれるメールアドレスをご準備いただきユーザー登録を行ってください。

Eseecloud
EseeCloudへようこそ

電子メールログイン | 電話番号

Eメール

メールアドレスの入力

アカウントのログイン/作成に必要な電子メールアドレスを入力してください。 **アカウント登録**

ログイン/登録

ログインして同意する (ユーザー契約) (プライバシーポリシー)

アカウントを作成するために「アカウント登録」をタップします。

アカウント登録

アカウント

メールアドレスの入力

登録する

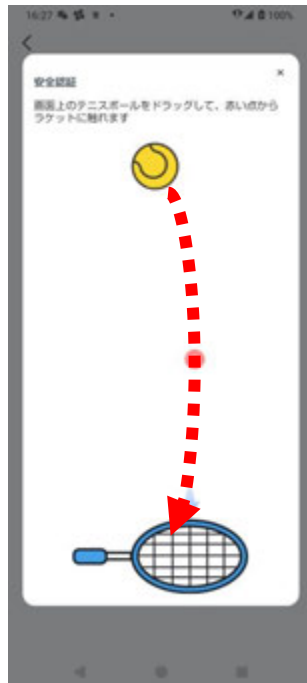
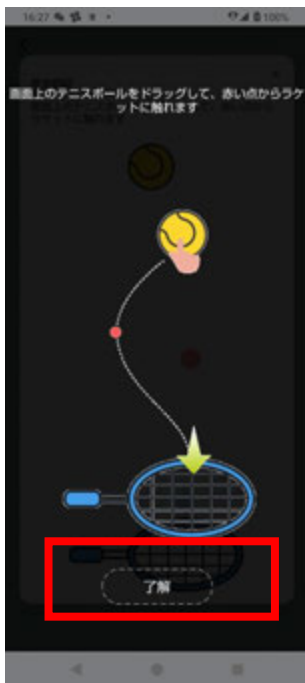
以下を読み、同意する (ユーザー契約) (プライバシーポリシー)

携帯電話番号登録

メールアドレスを入力、ユーザー契約、プライバシーポリシーを確認し、チェックボックスをタップしてチェックを入れます。



「登録する」をクリックできるようになりますので、「登録する」をタップして次の工程に進みます。



ロボット操作ではないことを確認する操作が表示されます。黒い画面時はハウツーとなっていますのでアニメーションを確認しやり方を確認します。理解出来たら「了解」をタップしてください。

白い画面になりましたらユーザーが操作できるようになります。ボールを赤い点の上を通過してラケットの上に来るように移動させてください。成功すると次の工程に進みます。

アカウントのパスワードの設定を行います。青枠内のパスワード入力欄に任意のパスワードを2か所入力してください。※レコーダーにログインする際のパスワードとは無関係です。あくまでこちらのアプリケーションのログインに使用するパスワードですので別々に管理してください。

先ほど登録したメールアドレスに確認コードのメールが来ているので、そちらを確認し確認コードを入力します。

すべての入力が完了すると「OK」がタップできるようになりますので{OK}をタップします。



アカウントが作成できると通知設定の質問が開きます。通知(モーション通知や各種アラームなど)を受け取りたい場合は許可をクリックしてください。あとから変更も可能です。



上記のような画面になればアカウント登録完了です。お疲れ様でした。

レコーダーをアプリケーションに登録する

アカウントを作成しログインが完了しましたら、アプリケーションにレコーダーの登録を行います。これによって外出先などの遠隔地から映像が確認できるようになります。



「+」をタップしてください。



上記のような確認が出ますので「有効」をタップしてください。



「スキャンして追加」をタップしてください。

レコーダー画面



スマートフォン画面



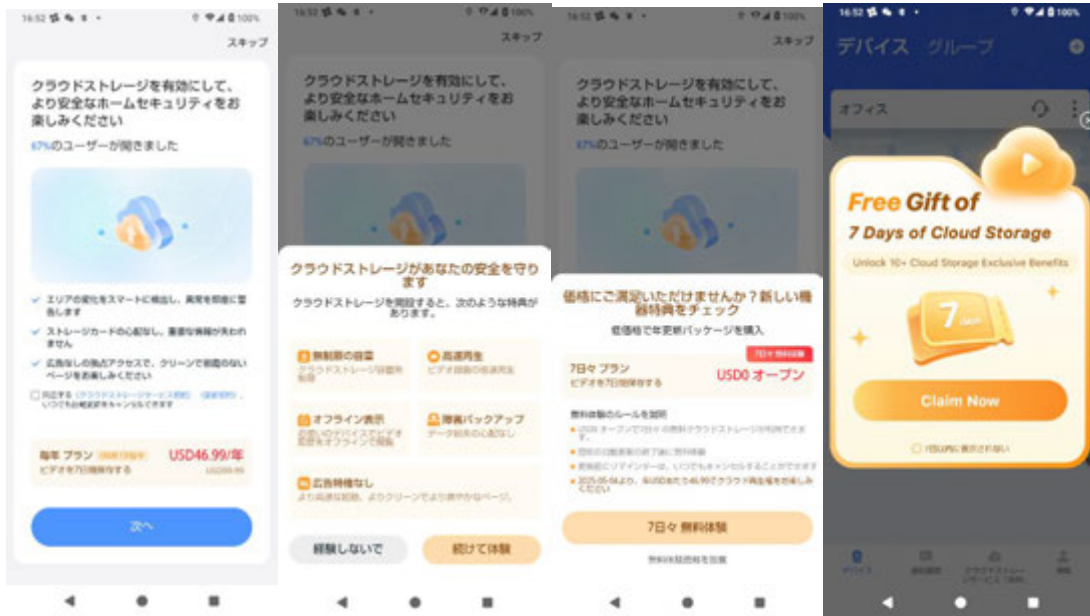
レコーダー側で、アカウント/APPメニューを開き、QRコードを画面上に表示させます。スマートフォンの画面がQRコードのスキャン画面になりますので、スマートフォンのカメラをレコーダーのQRコードに向けてコードを読み込んでください。



正常にコードが読み取れるとカメラの登録が始まります。
100%になるまで待ちます。

デバイスへの追加が正常に終わるとデバイスに分かりやすい
名前を付けることができます。
必要であればここでデバイスに名前を付けてください。

「聞こえました」をタップして次に進みます。



登録時やログイン、操作時に上記のような有料サービスの使用を促す広告が表示されますが、弊社ではこちらの有料サービスのサポートは一切行っておりません。

広告が表示された場合は「スキップ」、「同意しない」、「×」などをタップして広告を閉じてください。

※有料サービスを使用した場合の機能、トラブルに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



登録したレコーダーが上記のように表示されます。
再生マークをタップしてください。

上記のようにレコーダーと同じライブ画面が表示されれば登録は終了です。お疲れ様でした。

アプリケーションの操作方法

ライブ画面操作

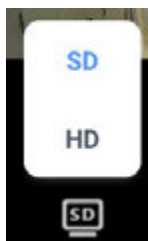


ライブ映像画面

ライブ映像が表示されます。

各映像(チャンネル)をタップすると白い枠が表示され、選択状態となります。

選択した状態で各種操作を行うことで遠隔から様々な操作を行うことができます。



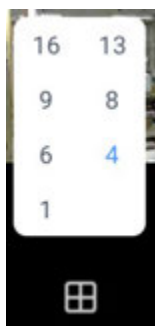
画質選択

タップして選択中のチャンネルの画質の選択を行います。

SD: 低画質で通信量を抑えられるモードです。

HD: 高画質で通信量が多くなるモードです。

※通信料が増えることで遅延や映像が取得できないなどの減少が発生する可能性があります。通常は低画質モードでの使用を推奨しております。



画面分割

ライブ映像画面の分割数を変更します。

※一度にたくさんのライブ映像を開くと通信量がおおくなり、スマートフォンへの負荷も大きくなります。通常は多くても4分割画面までを推奨しております。



音声出力なし

×表示の場合は音声出力なしです。



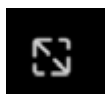
音声出力あり

こちらのアイコンの場合は音声出力ありです。設定は一括で行います。



スクリーンショット、手動録画

選択中のチャンネルの、スクリーンショットと手動録画を行います。
データはスマートフォンに保存されます、



全画面表示

ライブ映像画面をスマートフォンの全画面に表示します。

検知履歴



アラームの検知履歴を表示できます。



動体検知などで通知が発生した場合、こちらで確認することができます。

任意のサムネイルをタップすると録画映像を再生できます。

アルバム



手動録画、スクリーンショットのデータをこちらで確認することができます。



サムネイルで表示されますので任意のサムネイルをタップすると録画の再生、静止画の確認ができます。

「編集」をタップするとデータの削除が可能です。

再生画面から、共有をタップしてスマートフォンのフォルダへのダウンロードや他のアプリを使用して共有が可能です。

警報器



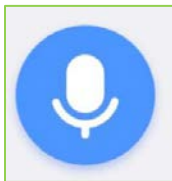
こちらをタップするとカメラから警報音が流れます。大音量で流れますのでご使用はご注意ください。

もっと（その他機能）

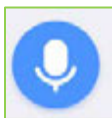


カメラのその他の機能を使用できます。共通の機能は夜間暗視設定があります。

通話機能



カメラにスピーカ、マイクが内蔵されている場合は通話機能がご利用いただけます。（W1 シリーズのカメラはすべて対応しております。）



こちらのアイコンをクリックすると通話モードになります。権限の許可等を求められるので許可してください。

アイコンを長押ししながらスマートフォンに向かって話すとカメラから音声が出ます。ボタンを離すとスマートフォン側の音声はカメラからでなくなります。

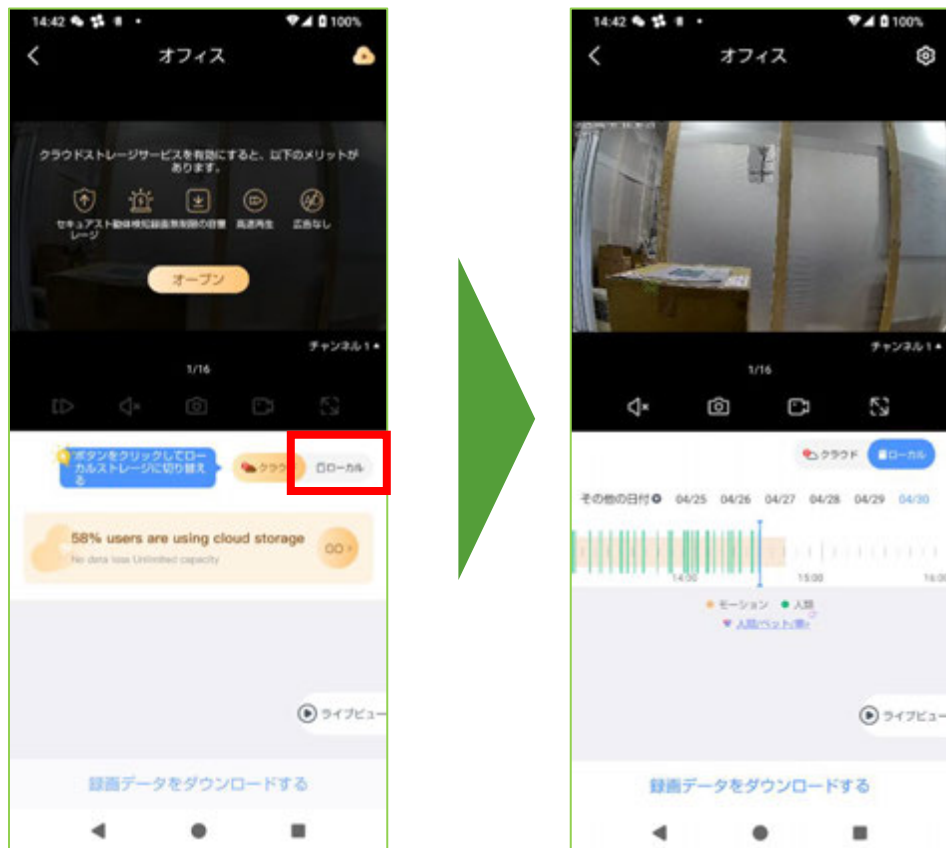


こちらのアイコンをタップすると通話モードが終了します。

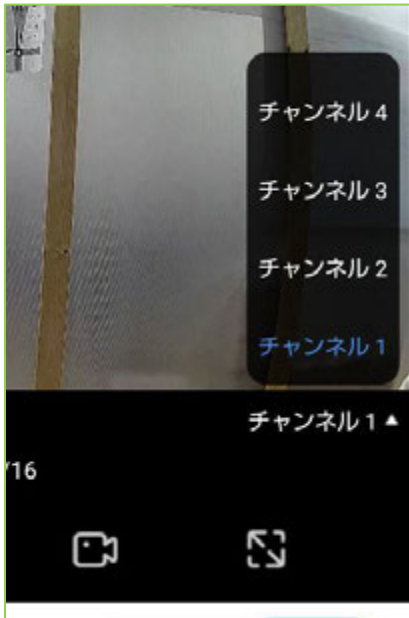
録画を再生する



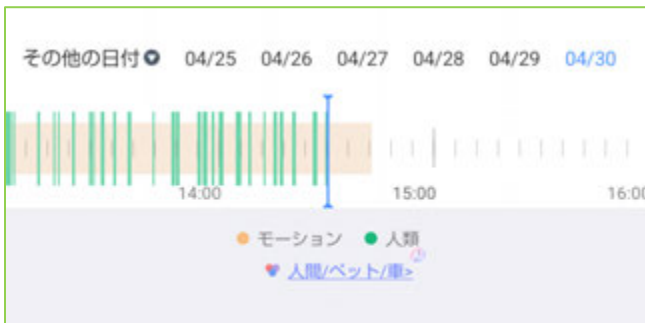
レコーダーの HDD に記録された録画データを遠隔で閲覧することが可能です。
上記の録画再生ボタンをタップすると録画再生画面が表示されます。



再生画面が表示されると「クラウド」が選択されていますので、「ローカル」をタップで選択します。
するとレコーダーの HDD 内の録画再生画面が表示されます。



チャンネルをタップすると再生を行うチャンネルを変更できます。
録画の再生は1チャンネル毎しかできませんので都度変更してください。



タイムラインをタップで操作することで任意の時間の録画が再生可能です。
日付をタップすると再生する日付が変更できます。

アプリケーション使用時の注意点

遠隔監視ソフト EseeCloud をご利用の際は規約、プライバシーポリシーをよくご確認ください
お客様の責任においてご利用ください。

アプリケーションを使用した際のいかなるトラブルに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

本アプリケーションは確実な遠隔での操作、画像、映像の閲覧をご提供、保証するものではございません。

アプリケーションを使用した遠隔での操作、映像の閲覧は通信環境の影響を大きく受けます。

通信環境によっては映像を取得できない場合もございますのでご了承ください。

